

平成27年度 報告書
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果
高槻市の結果について



第7回 高槻市小学校駅伝大会

平成28年2月
高槻市教育委員会

はじめに

全国的な子どもたちの体力は、昭和60年頃と比較すると依然として低い水準となっているものの、これまで続いていた低下傾向に概ね歯止めがかかり、「横ばい」または「向上傾向」がみられるようになりました。

このように、近年の子どもたちの体力の低下に歯止めがかかり、向上傾向が見られるようになった背景には、各地域において学校や教育委員会が、体力の低下傾向に対する問題意識に基づき、子どもたちの体力向上に向けて行ってきた多くの取組みが一定の成果を上げてきたことが考えられます。

本市においても、今年度で7回目を迎えた「小学校駅伝大会」をはじめ、「中学校総合体育大会」の開催など、子どもたちの体力向上に向け、さまざまな施策を展開してきたところです。

しかし、これまでに実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から、本市の児童生徒においては、全身持久力が向上傾向にあります。敏捷性^{びんしょうせい}や巧緻性^{こうちせい}・投球能力に課題があること、運動する子どもとそうでない子どもの二極化が見られること、体育・保健体育の授業に関する基本的な項目等で課題があることが明らかとなっています。

本報告書は、平成27年4月から7月にかけて実施された「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果をもとに、高槻市の子どもたちの体力の状況や1週間の運動時間の分布、運動やスポーツに対する意識、体育・保健体育科の授業に対する意識の状況等を示しています。

各学校におかれましては、本報告書の趣旨を十分にご理解いただき、自校の児童生徒の体力の状況等を本報告書の調査結果と比較し、分析・検討され、体育・保健体育の授業改善、学校の教育活動全体を通じた体力向上の取組みの充実を図るための基本資料として活用願います。

平成28年2月

高槻市教育委員会

高槻市の結果について

目 次

1	調査の概要	4
2	体力・運動能力の状況	6
3	1週間の総運動時間の状況	18
4	運動やスポーツに対する意識の状況	20
5	体育・保健体育の授業に対する意識の状況	25
6	体育・保健体育の授業改善の必要性	33
7	「ボール投げ」の記録向上のために	36
8	全国体力調査の結果<まとめ>	37
9	子どもたちの体力向上に向けて	38

1. 調査の概要

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査の名称

「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

3. 調査の対象とする児童生徒

- (1) 小学校調査・・・小学校第5学年
 - (2) 中学校調査・・・中学校第2学年
- ただし、小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障がいの状態等を考慮して、参加を判断。

4. 調査事項

- (1) 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストと同様）
 - (ア) 小学校調査 [8種目]
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
 - (イ) 中学校調査 [8種目]
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子 1500m、女子 1000m）、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
※ 持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択して実施
- (2) 質問紙調査
運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「質問紙調査」という）

5. 調査実施日

- (1) 実技調査実施期間・・・平成27年4月から7月末までの期間
- (2) 質問紙調査実施期間・・・調査票到着から7月末までの期間

6. 調査結果の活用について

子どもたちの心身の調和的発達を図るためには、運動を通じて体力を養うとともに、望ましい食習慣など健康的な生活習慣を形成することが必要です。

学校は、体育・保健体育の授業において基礎的な身体能力の育成、技術・家庭において望ましい食習慣など健康的な生活習慣の形成、運動会や体育祭、遠足、クラブ活動などの特別活動や運動部活動など、さまざまな教育活動を相互に関連させながら、生涯にわたって運動に親しむ能力や態度を育成することが必要です。また、生活習慣の確立や日常的な運動の実践などについては家庭教育や地域教育の果たすべき役割が大きいことから、学校、家庭及び地域の役割分担と連携が求められます。

本調査の結果をもとに、学校の教育活動全体を通して子どもたちの体力向上の取組を推進していただくようお願いします。

7. 調査結果の取り扱いについて

- ・本調査は、対象となる学年や実施内容が限られています。また、体力は個人の発育発達の状況が大きく関わっていることから、結果はあくまでも体力・運動能力の特定の一部分をあらわすものであり、全てをあらわすものではありません。その点に留意した上でご覧いただきますようお願いいたします。
- ・本調査は、子どもたちの体力・運動能力や運動習慣等を把握し、体力や生活習慣、食習慣、運動習慣改善の指導に役立てることを目的として実施したものですから、過度な競争を目的とした調査結果の取扱いとならないようお願いします。

[体力テストの種目について]

小学校

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値。
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数。
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離。
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数。
⑤ 20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数。
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間。
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離。
⑧ ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離。
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。	
総合評価	5段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価。	

中学校

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値。
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数。
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離。
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数。
⑤-1 持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間。
⑤-2 20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数。
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間。
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離。
⑧ ハンドボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ハンドボール2号球を遠投した距離。
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。	
総合評価	5段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価。	

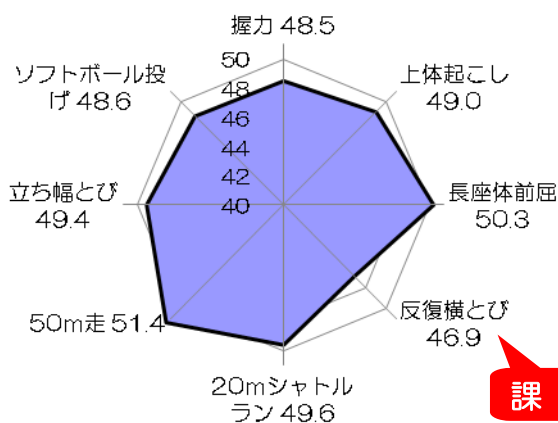
2. 体力・運動能力の状況

平成27年度高槻市平均値と全国平均値の比較【男子】

(全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート)

男子

小学校

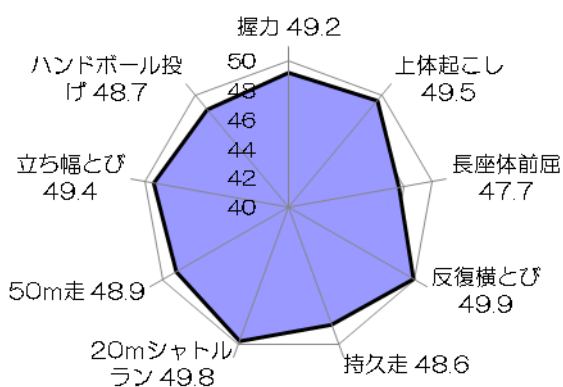


小学校5年男子	高槻市	全国
握力 (kg)	15.91	16.45
上体起こし (回)	18.97	19.58
長座体前屈 (cm)	33.26	33.05
反復横とび (点)	39.12	41.60
20mシャトルラン (回)	50.86	51.64
50m走 (秒)	9.25	9.38
立ち幅とび (cm)	149.91	151.24
ソフトボール投げ (m)	21.43	22.52
体力合計点 (点)	52.90	53.80

課題

- 「握力」「ソフトボール投げ」が全国平均をやや下回っており、筋力や巧緻性・投球能力に課題がみられます。
- 「反復横とび」が全国平均を下回っており、敏捷性に課題がみられます。

中学校



中学校2年男子	高槻市	全国
握力 (kg)	28.35	28.93
上体起こし (回)	27.10	27.43
長座体前屈 (cm)	40.66	43.08
反復横とび (点)	51.52	51.62
持久走 (秒)	401.67	392.63
20mシャトルラン (回)	85.16	85.56
50m走 (秒)	8.10	8.01
立ち幅とび (cm)	192.24	194.05
ハンドボール投げ (m)	19.94	20.65
体力合計点 (点)	40.47	41.89

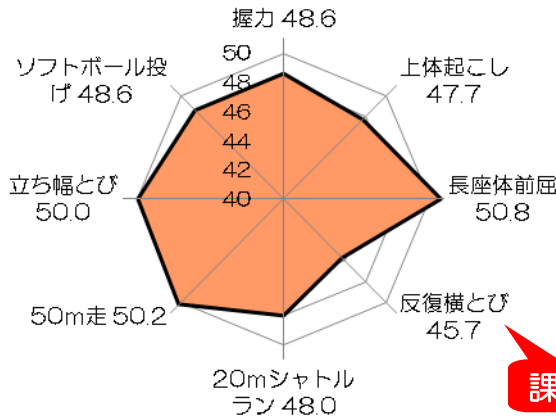
- 「長座体前屈」が全国平均をやや下回っており、柔軟性に課題がみられます。

平成27年度高槻市平均値と全国平均値の比較【女子】

(全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート)

女子

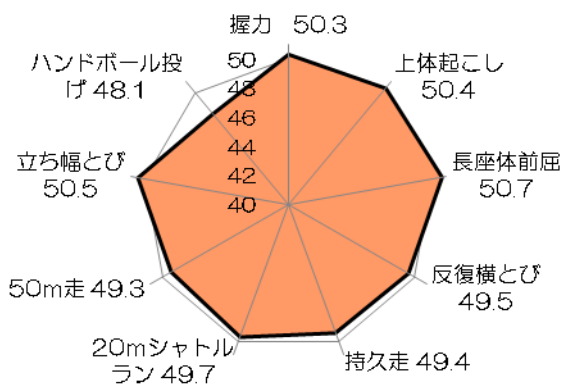
小学校



小学校5年女子	高槻市	全国
握力 (kg)	15.51	16.05
上体起こし (回)	17.21	18.42
長座体前屈 (cm)	38.10	37.44
反復横とび (点)	36.53	39.55
20mシャトルラン (回)	37.39	40.69
50m走 (秒)	9.60	9.62
立ち幅とび (cm)	144.74	144.77
ソフトボール投げ (m)	13.10	13.77
体力合計点 (点)	53.46	55.18

- 「上体起こし」「20mシャトルラン」が全国平均をやや下回っており、筋パワー・筋持久力、全身持久力に課題がみられます。
- 「反復横とび」が全国平均を下回っており、敏捷性に課題がみられます。

中学校



中学校2年女子	高槻市	全国
握力 (kg)	23.81	23.68
上体起こし (回)	23.48	23.26
長座体前屈 (cm)	46.17	45.53
反復横とび (点)	45.77	46.09
持久走 (秒)	292.74	290.03
20mシャトルラン (回)	57.39	58.06
50m走 (秒)	8.90	8.84
立ち幅とび (cm)	168.53	167.28
ハンドボール投げ (m)	12.07	12.83
体力合計点 (点)	48.84	49.08

- 「ハンドボール投げ」が全国平均をやや下回っており、巧緻性・投球能力に課題がみられます。

握力

課題

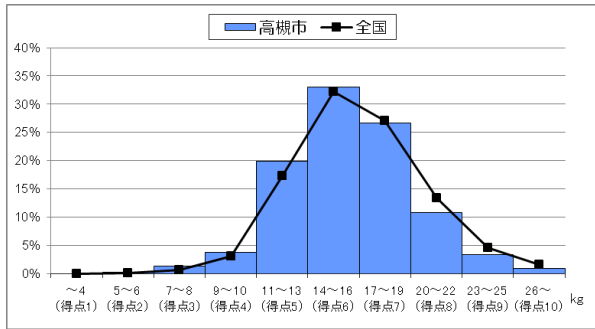
本市における握力の調査結果は、全体的に低下傾向にあります。

男子

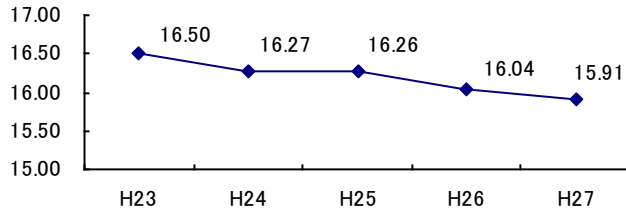
女子

小学校

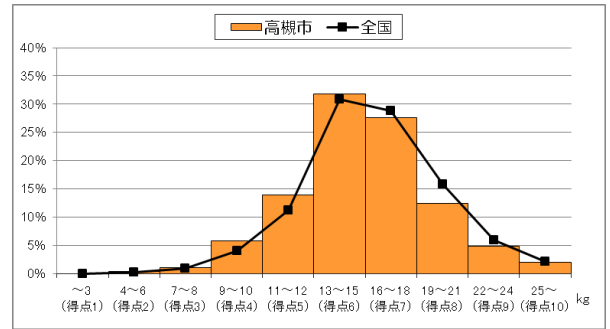
高槻市 15.91kg (全国 16.45kg)



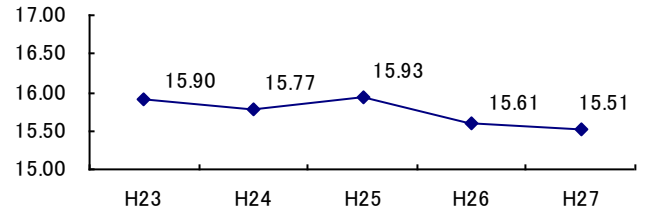
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 15.51kg (全国 16.05kg)

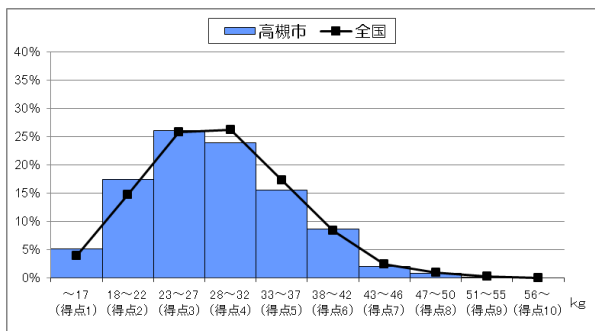


(過去5年間の本市の結果)

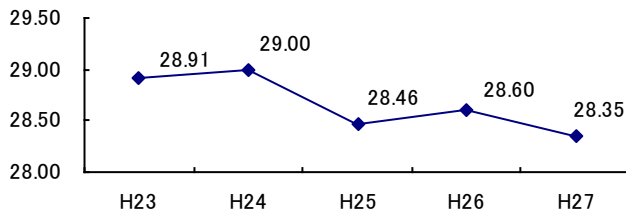


中学校

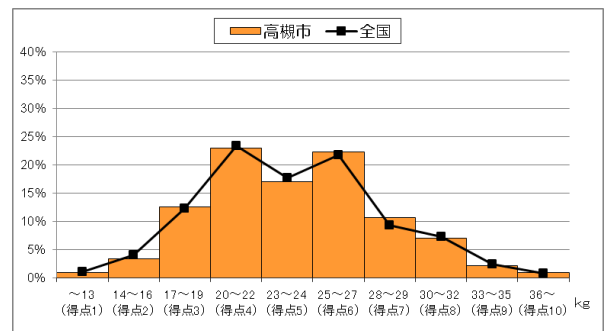
高槻市 28.35kg (全国 28.93kg)



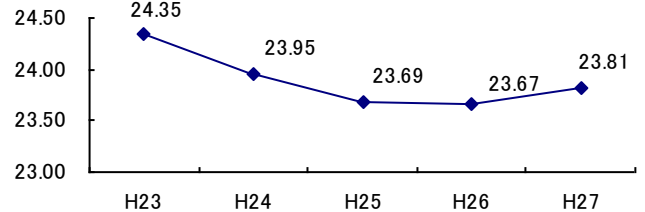
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 23.81kg (全国 23.68kg)



(過去5年間の本市の結果)



●調査結果の分布

高槻市と全国とを比較すると、調査結果の分布は全国と同様の傾向がみられます。

小学校と中学校とを比較すると、中学校の女子で二極化の傾向がみられます。

●過去5年間の本市の結果

全体的に低下傾向がみられ、小学校の男女と中学校の男子では、過去5年で最低を記録しています。

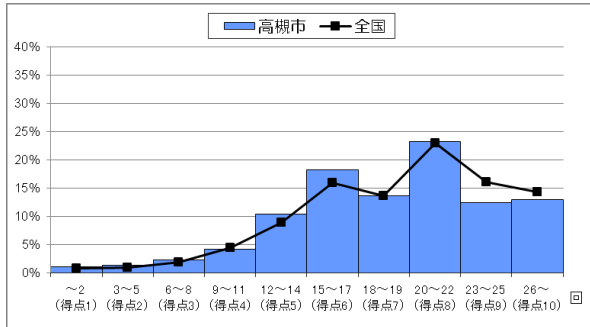
上体起こし

男子

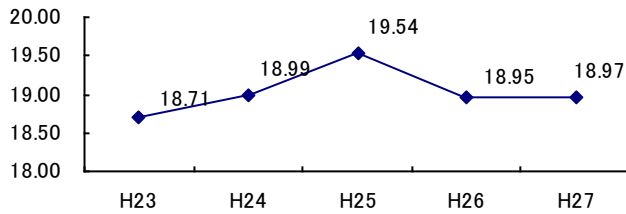
女子

小学校

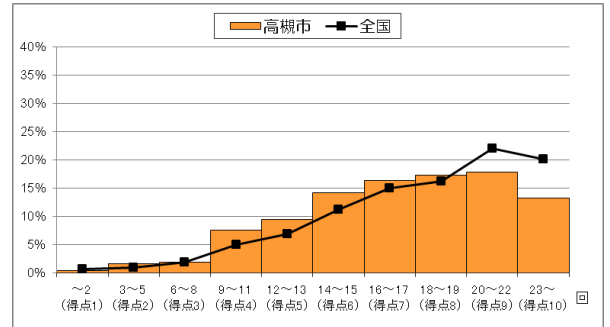
高槻市 18.97回 (全国 19.58回)



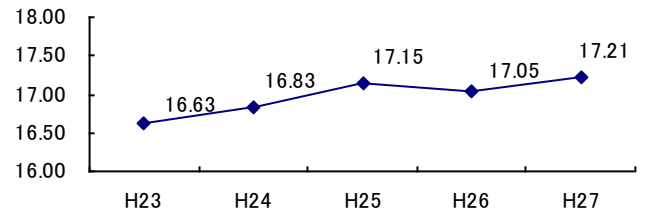
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 17.21回 (全国 18.42回)

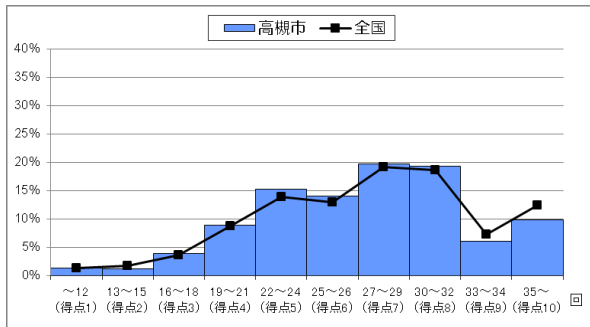


(過去5年間の本市の結果)

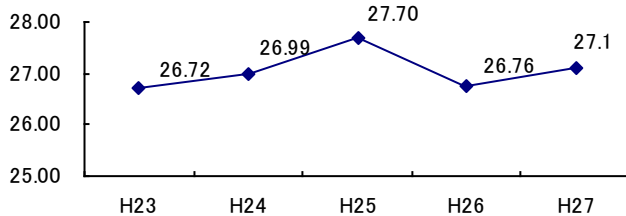


中学校

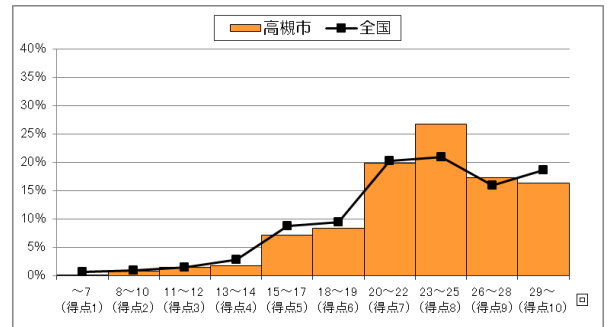
高槻市 27.10回 (全国 27.43回)



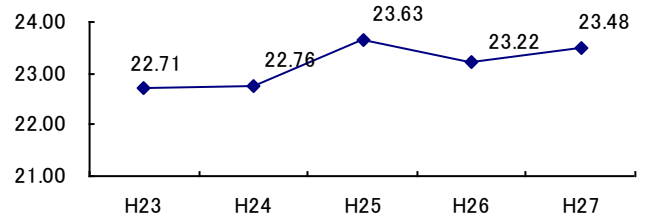
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 23.48回 (全国 23.26回)



(過去5年間の本市の結果)



● 調査結果の分布

小学校と中学校とを比較すると、小学校の男子で二極化の傾向がみられます。

● 過去5年間の本市の結果

小学校の女子と中学校の女子で、全体的に向上傾向がみられます。

小学校の女子では、過去5年で最低を記録しています。

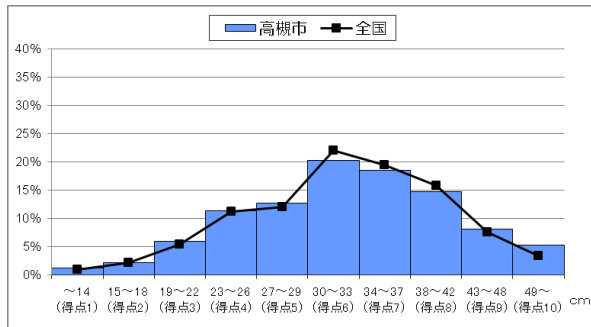
長座体前屈

男子

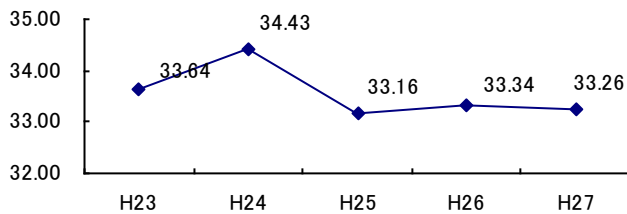
女子

小学校

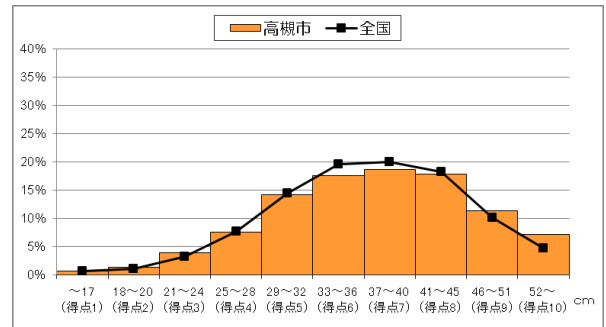
高槻市 33.26cm (全国 33.05cm)



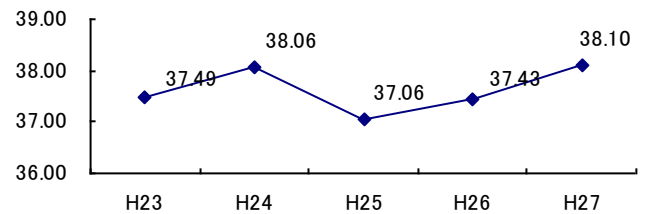
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 38.10cm (全国 37.44cm)

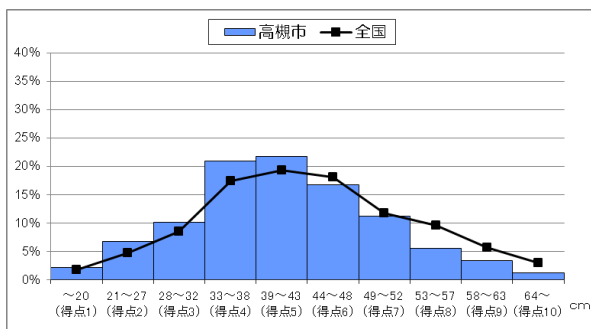


(過去5年間の本市の結果)

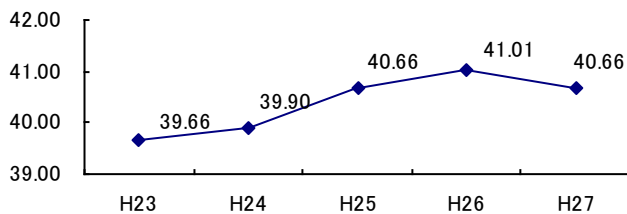


中学校

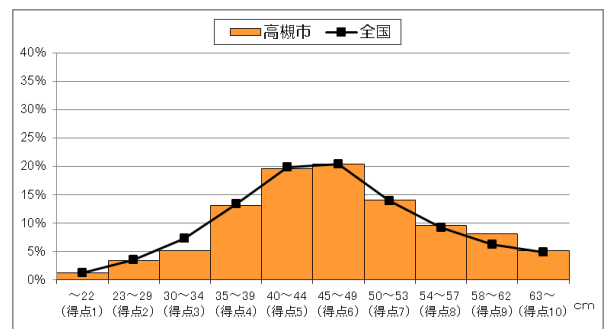
高槻市 40.66cm (全国 43.08cm)



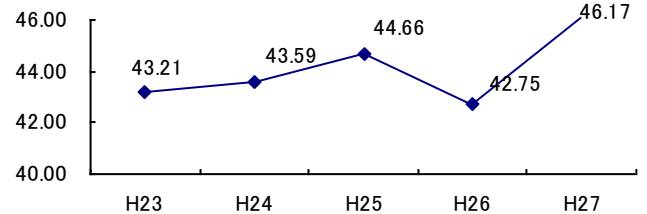
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 46.17cm (全国 45.53cm)



(過去5年間の本市の結果)



●調査結果の分布

高槻市と全国を比較すると、調査結果の分布は全国と同様の傾向がみられます。小学校と中学校とを比較すると、小学校では上位層が多く、中学校では逆に少なくなる傾向がみられます。

●過去5年間の本市の結果

中学校で全体的に向上傾向がみられ、中学校の女子では、過去5年で最高を記録しています。

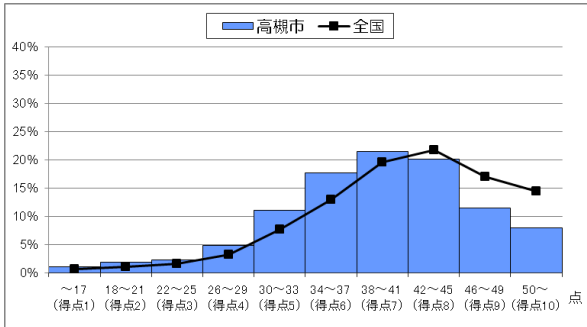
反復横とび

男子

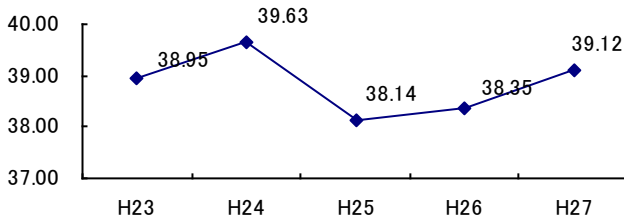
女子

小学校

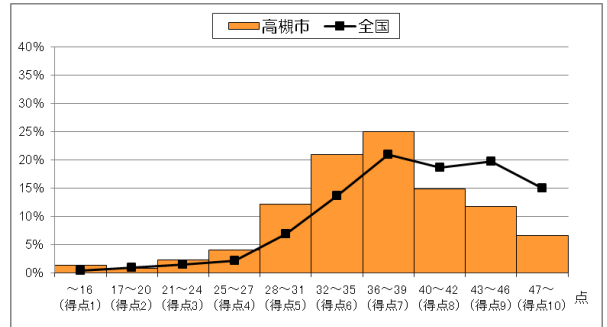
高槻市 39.12 点 (全国 41.60 点)



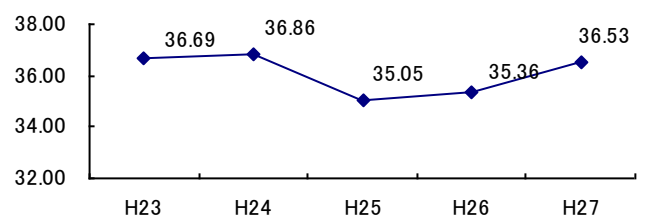
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 36.53 点 (全国 39.55 点)

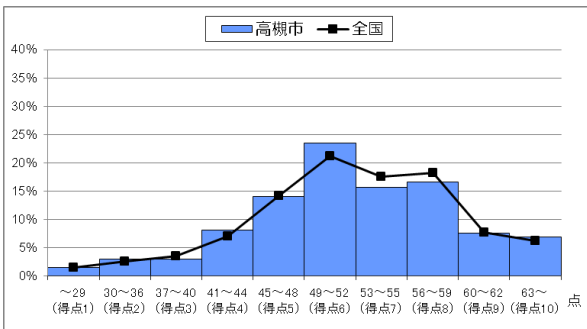


(過去5年間の本市の結果)

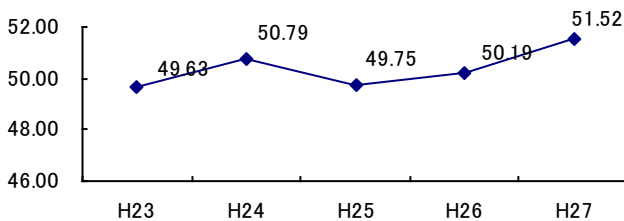


中学校

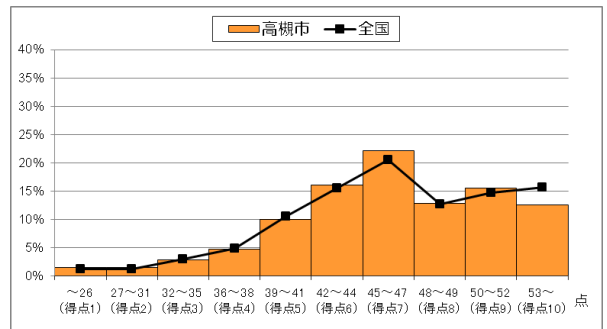
高槻市 51.52 点 (全国 51.62 点)



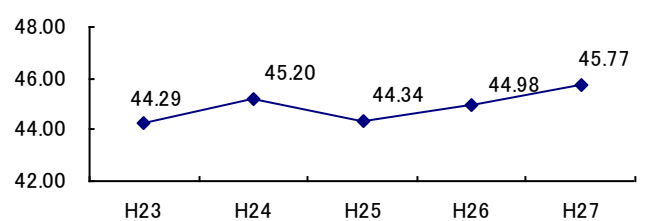
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 45.77 点 (全国 46.09 点)



(過去5年間の本市の結果)



● 調査結果の分布

高槻市と全国を比較すると、調査結果の分布は、小学校では上位層が全国に比べ少なくなっています。

● 過去5年間の本市の結果

中学校の男女で、全体的に向上傾向がみられ、過去5年間で最高を記録しています。

持久走

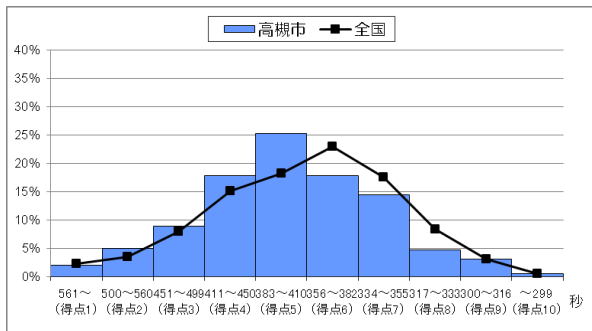
男子

女子

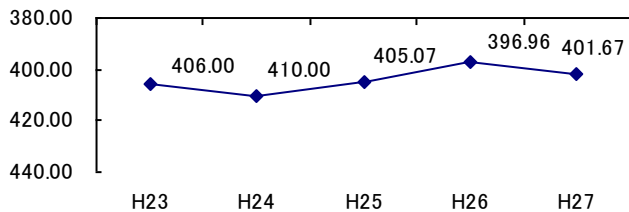
小学校

中学校

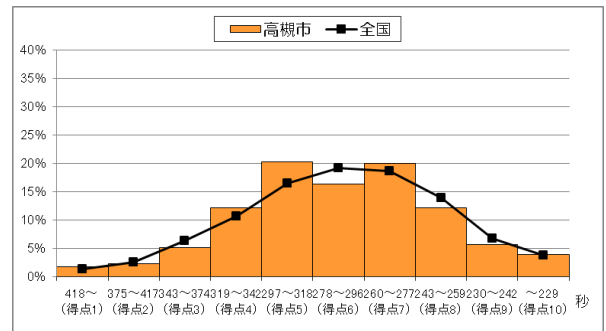
高槻市 401.67 秒 (全国 392.63 秒)



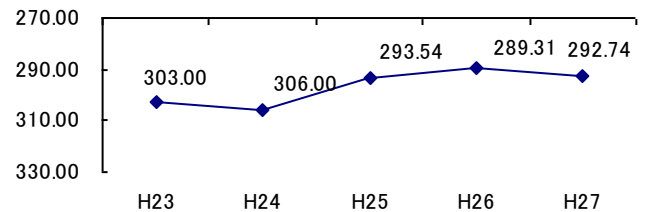
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 292.74 秒 (全国 290.03 秒)



(過去5年間の本市の結果)



● 調査結果の分布

高槻市と全国とを比較すると、調査結果の分布は、全国と同様の傾向がみられます。

● 過去5年間の本市の結果

中学校の男女で昨年度を下回りましたが、全体的には向上傾向がみられます。

20m シャトルラン

成果

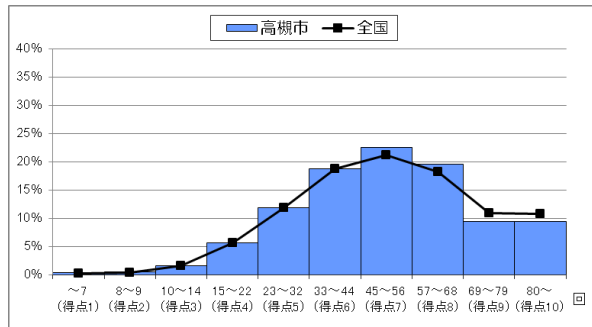
本市における20mシャトルランの調査結果は、全体的に向上傾向にあります。

男子

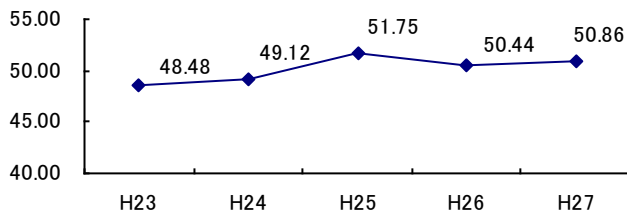
女子

小学校

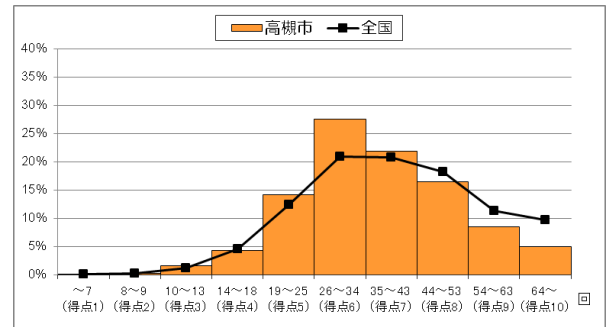
高槻市 50.86回 (全国 51.64回)



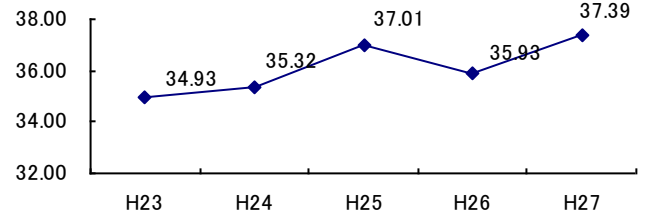
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 37.39回 (全国 40.69回)

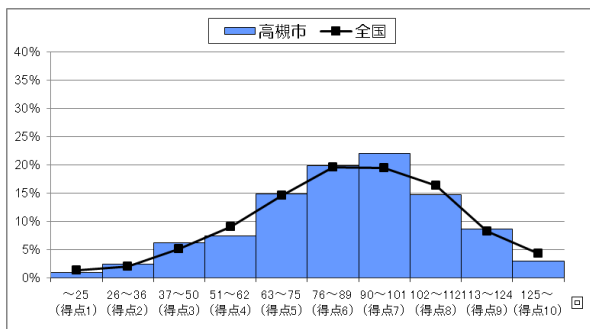


(過去5年間の本市の結果)

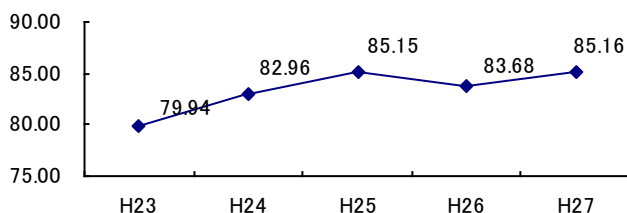


中学校

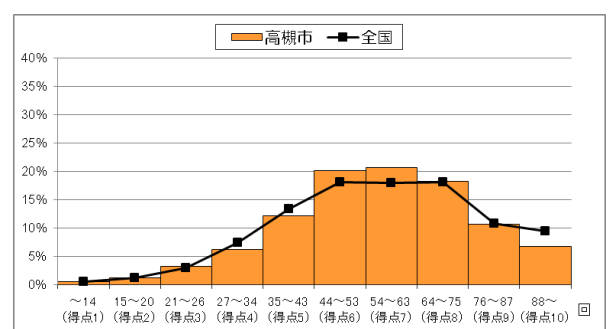
高槻市 85.16回 (全国 85.56回)



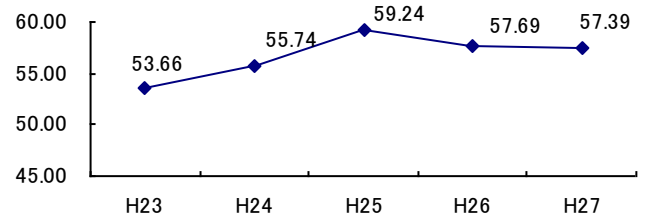
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 57.39回 (全国 58.06回)



(過去5年間の本市の結果)



●調査結果の分布

高槻市と全国とを比較すると、調査結果の分布は、全国と同様の傾向がみられます。

●過去5年間の本市の結果

小学校の男女、中学校の男女で全体的に向上傾向がみられ、小学校の女子と中学校の男子では、過去5年で最高を記録しています。

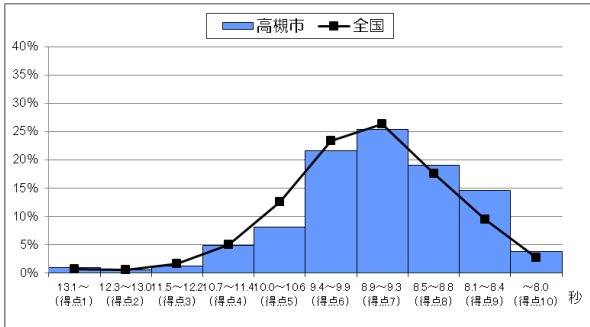
50m 走

男子

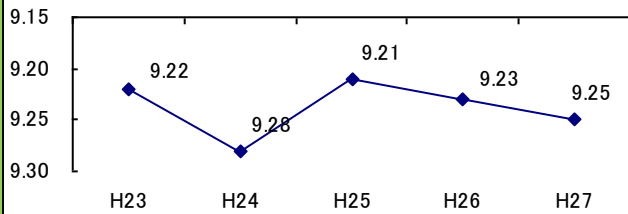
女子

小学校

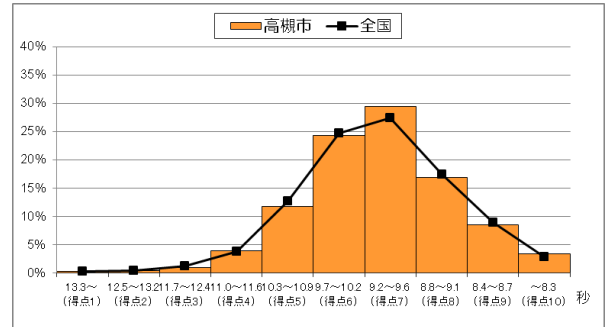
高槻市 9.25 秒 (全国 9.38 秒)



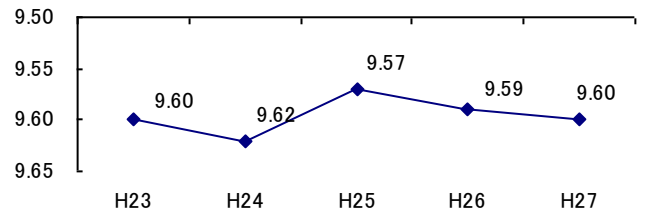
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 9.60 秒 (全国 9.62 秒)

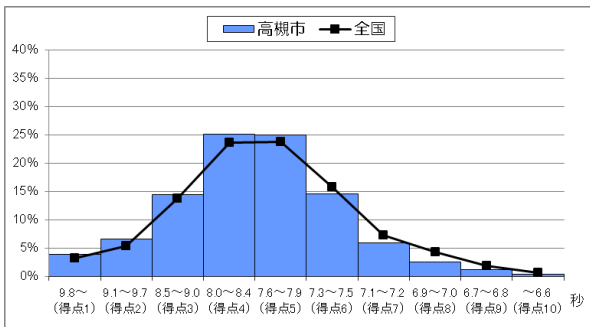


(過去5年間の本市の結果)

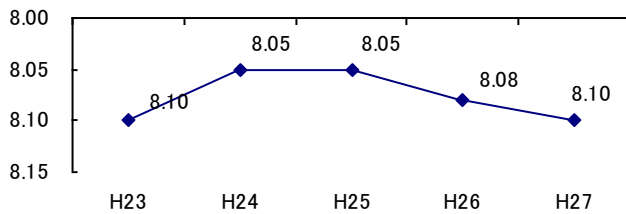


中学校

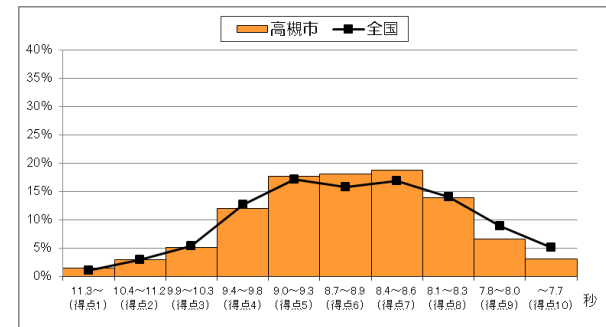
高槻市 8.10 秒 (全国 8.01 秒)



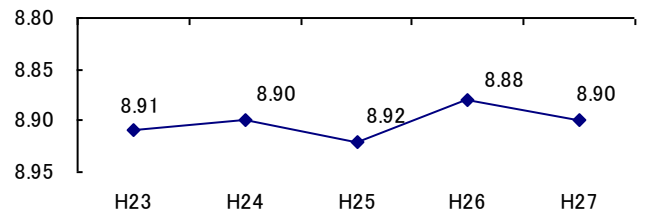
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 8.90 秒 (全国 8.84 秒)



(過去5年間の本市の結果)



● 調査結果の分布

高槻市と全国とを比較すると、調査結果の分布は、小学校男子で上位層が多くなっています。

● 過去5年間の本市の結果

小中学校の男女で、一定の水準で推移しています。

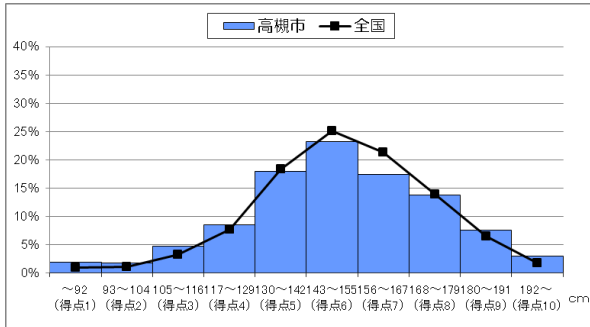
立ち幅とび

男子

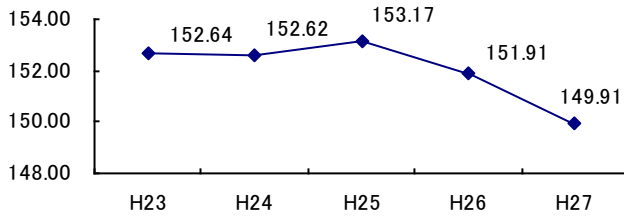
女子

小学校

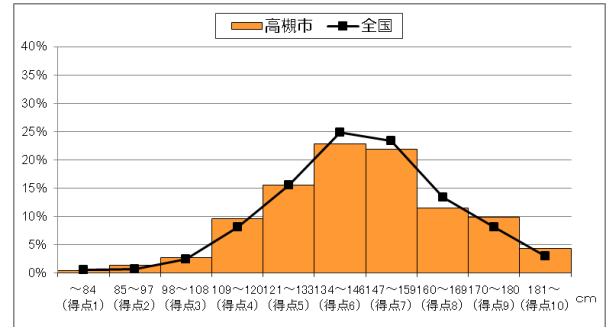
高槻市 149.91 cm (全国 151.24cm)



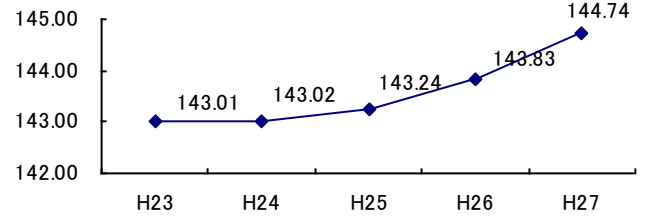
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 144.74cm (全国 144.77cm)

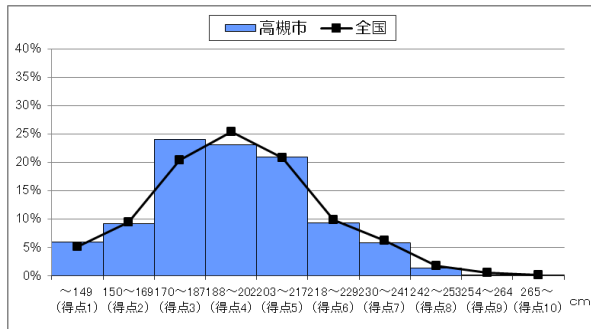


(過去5年間の本市の結果)

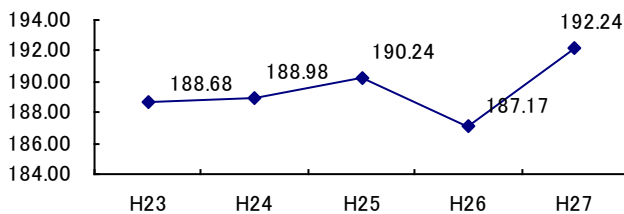


中学校

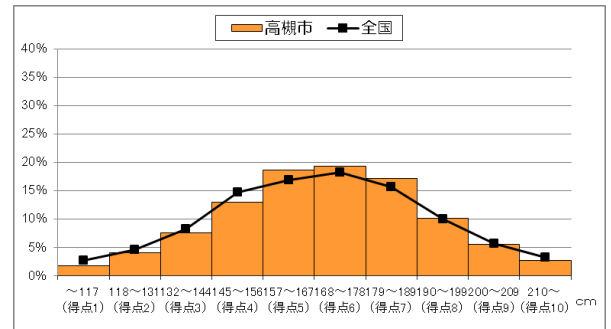
高槻市 192.24cm (全国 194.05cm)



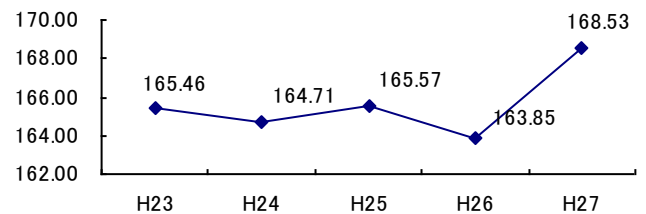
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 168.53cm (全国 167.28cm)



(過去5年間の本市の結果)



●調査結果の分布

高槻市と全国とを比較すると、調査結果の分布は、全国と同様の傾向がみられます。

●過去5年間の本市の結果

小学校の女子、中学校の男女では、過去5年で最高を記録しています。

小学校の男子は低下傾向にあり、過去5年で最低を記録しています。

小学校：ソフトボール投げ 中学校:ハンドボール投げ

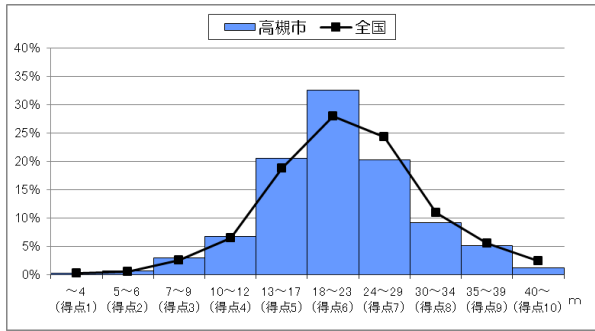
課題 本市におけるボール投げの調査結果は、全体的に低下傾向にあります。

男子

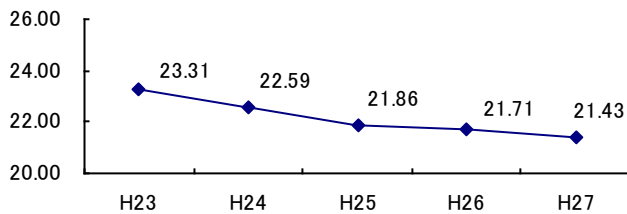
女子

小学校

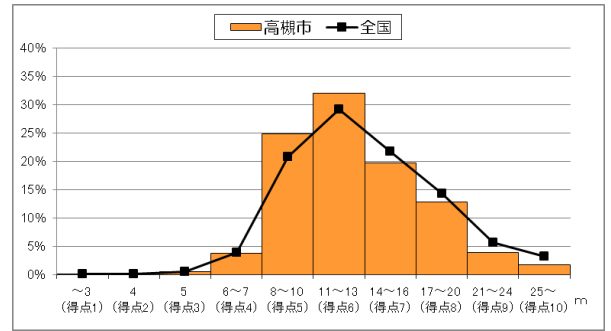
高槻市 21.43m (全国 22.52m)



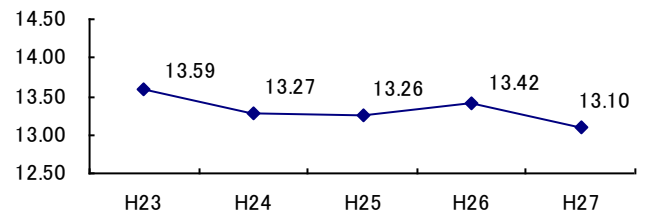
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 13.10m (全国 13.77m)

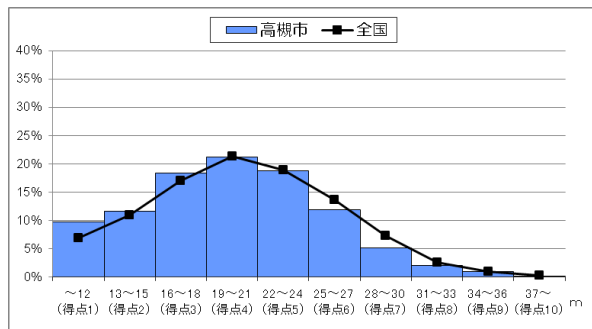


(過去5年間の本市の結果)

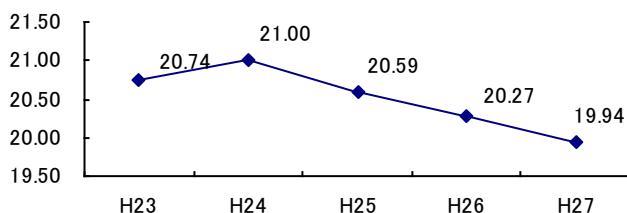


中学校

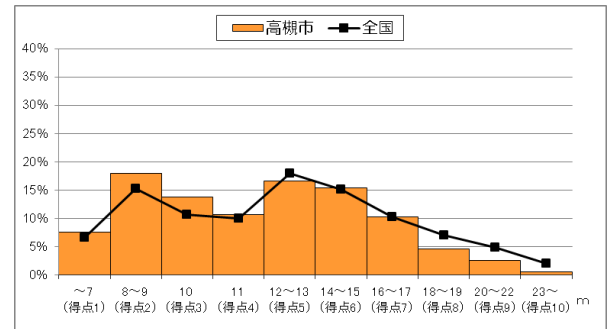
高槻市 19.94m (全国 20.65m)



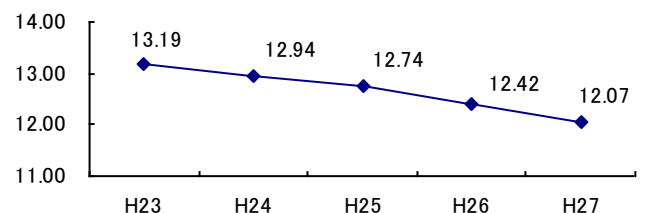
(過去5年間の本市の結果)



高槻市 12.07m (全国 12.83m)



(過去5年間の本市の結果)



●調査結果の分布

高槻市と全国とを比較すると、調査結果の分布は、全国と同様の傾向がみられます。

小学校と中学校とを比較すると、中学校の女子では全体的に分布が広がり、二極化の傾向がみられます。

●過去5年間の本市の結果

全体的に低下傾向がみられ、小学校の男女、中学校の男女では、過去5年で最低を記録しています。

体力合計点（総合評価）

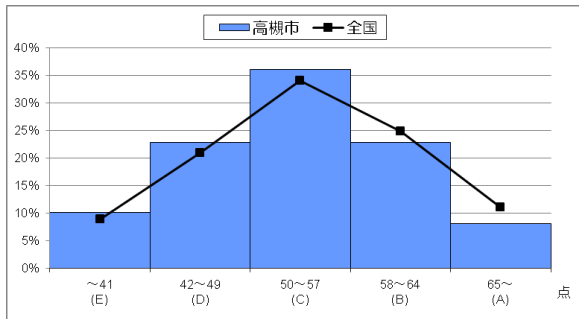
総合評価：体力テスト合計得点の良い方から、ABCDEの5段階で評定した体力の総合得点

男子

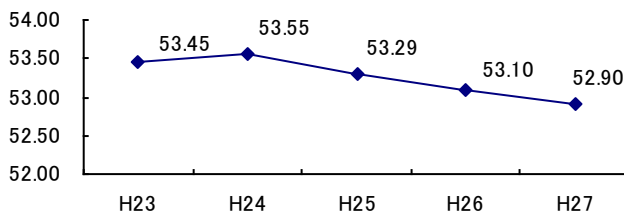
女子

小学校

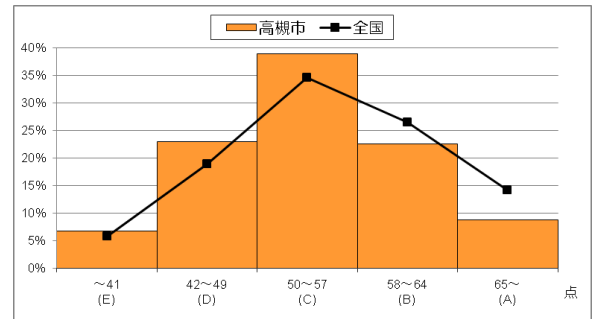
高槻市 52.90pt（全国 53.80pt）



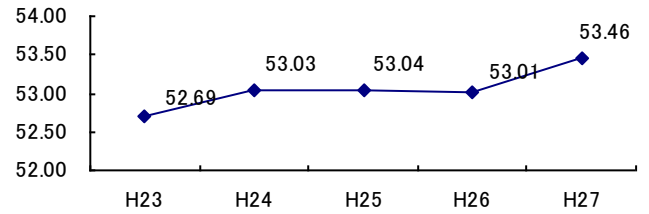
（過去5年間の本市の結果）



高槻市 53.46pt（全国 55.18pt）

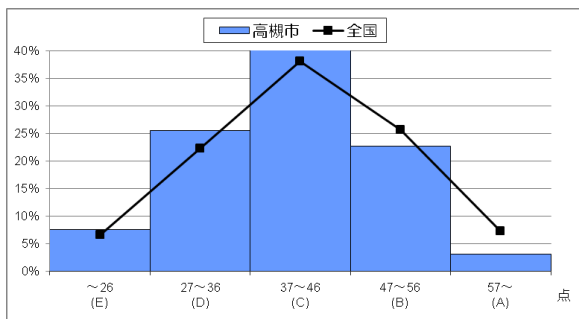


（過去5年間の本市の結果）

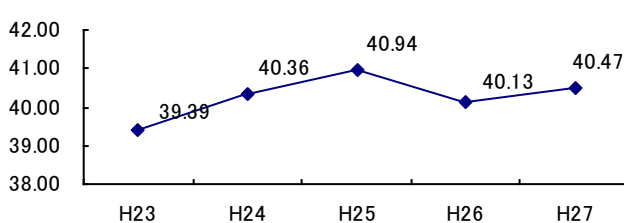


中学校

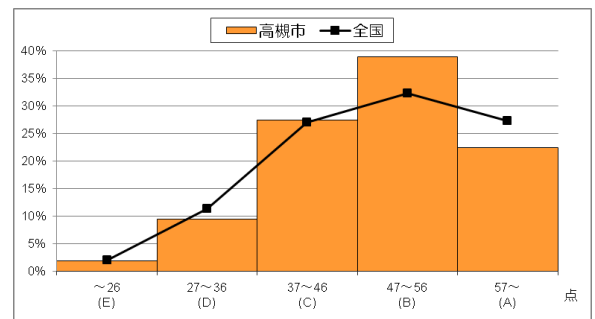
高槻市 40.47pt（全国 41.89pt）



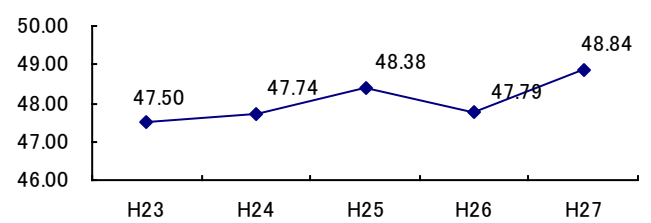
（過去5年間の本市の結果）



高槻市 48.84pt（全国 49.08pt）



（過去5年間の本市の結果）



●総合評価

高槻市と全国とを比較すると、小学校の男女と中学校の男子で、「得点が高い層（A+B）」の割合は全国よりも低く、逆に「得点が低い層（D+E）」の割合は高くなっています。

●過去5年間の本市の結果

過去5年の推移を見ると小学校の女子と中学校の男女で、全体的に向上傾向にあります。

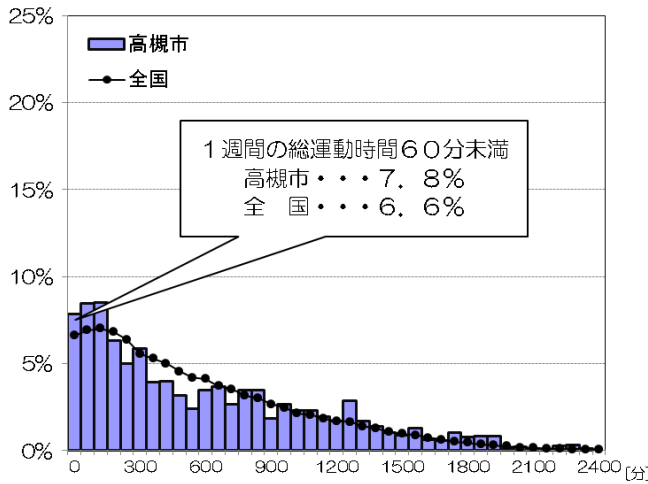
小学校の女子と中学校の女子は、過去5年で最高を記録し、小学校の男子では、過去5年で最低を記録しています。

3. 1週間の総運動時間の状況

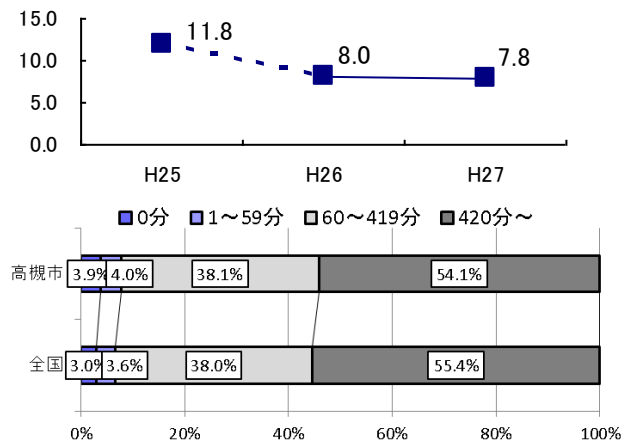
学校の体育（保健体育）の授業以外で、運動（体を動かす運動遊びをふくむ）やスポーツを何分くらいしていますか。

男子

小学校



60分未満群の児童の推移（過去3年）



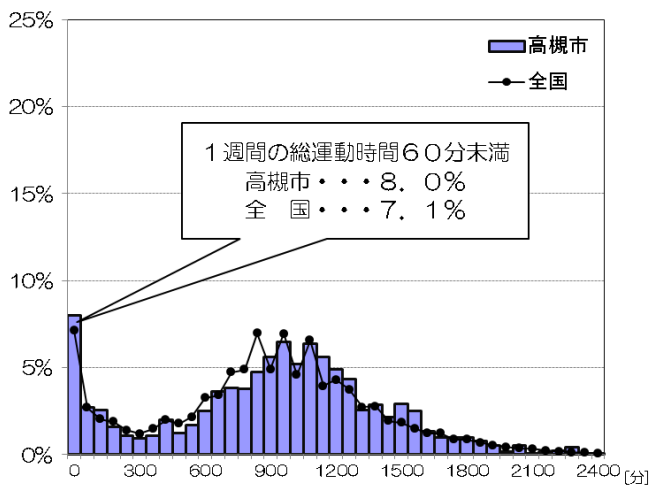
●全国との比較

小学校では、運動をほとんどしない児童が多くなっています。1週間の総運動時間 60 分未満の児童は 7.8%となっており、全国に比べ 1.2 ポイント多くなっています。

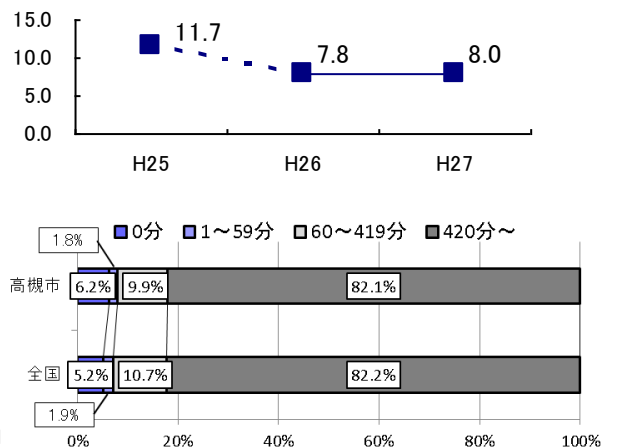
●60分未満群の児童生徒の推移

昨年度と比較すると、0.2 ポイント減となっています。

中学校



60分未満群の生徒の推移（過去3年）



●全国との比較

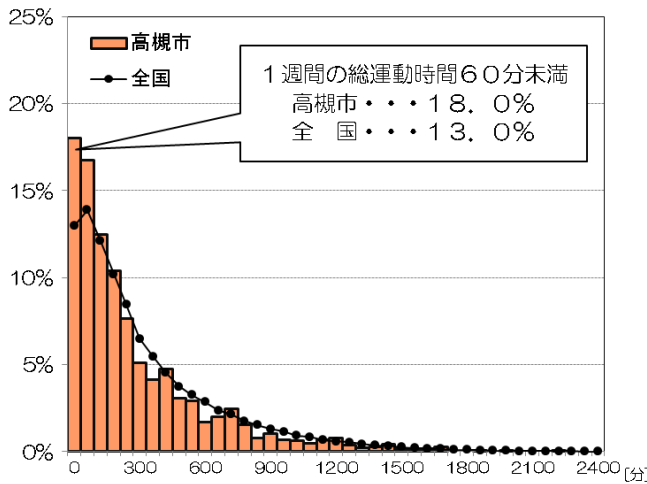
部活動のある中学校では、運動をする生徒とほとんどしない生徒の二極化の傾向がみられ、1週間の総運動時間 60 分未満の生徒は 8.0%となっており、全国に比べ、0.9 ポイント多くなっています。

●60分未満群の児童生徒の推移

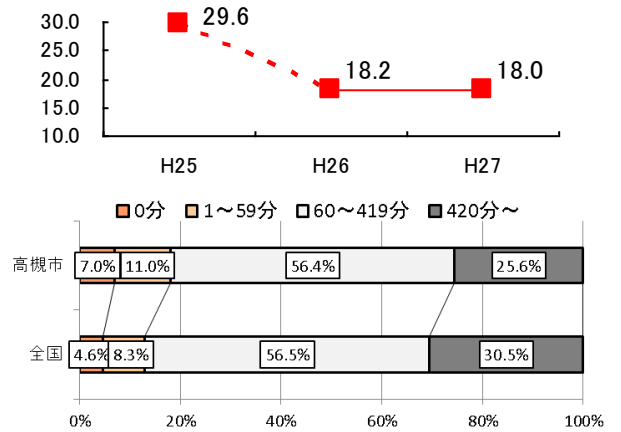
昨年度と比較すると、0.2 ポイント増となっています。

女子

小学校



60分未満群の児童の推移（過去3年）



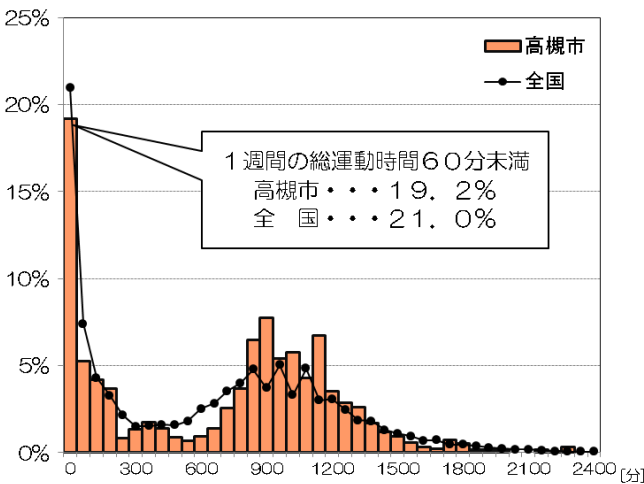
●全国との比較

小学校では、運動をほとんどしない児童が多くなっています。1週間の総運動時間 60分未満の児童は 18.0%となっており、全国に比べ 5.0ポイント多くなっています。

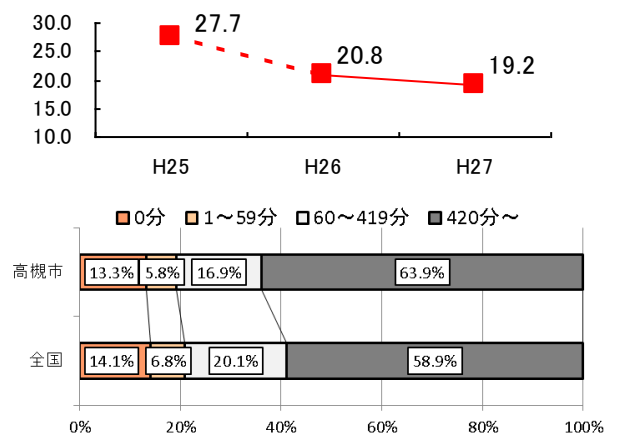
●60分未満群の児童生徒の推移

昨年度と比較すると、0.2ポイント減となっています。

中学校



60分未満群の生徒の推移（過去3年）



●全国との比較

部活動のある中学校では、運動をする生徒とほとんどしない生徒の二極化の傾向がみられます。1週間の総運動時間 60分未満の生徒は 19.2%となっており、全国に比べ、1.8ポイント少なくなっています。

●60分未満群の児童生徒の推移

昨年度と比較すると、1.6ポイント減となっており、改善がみられます。

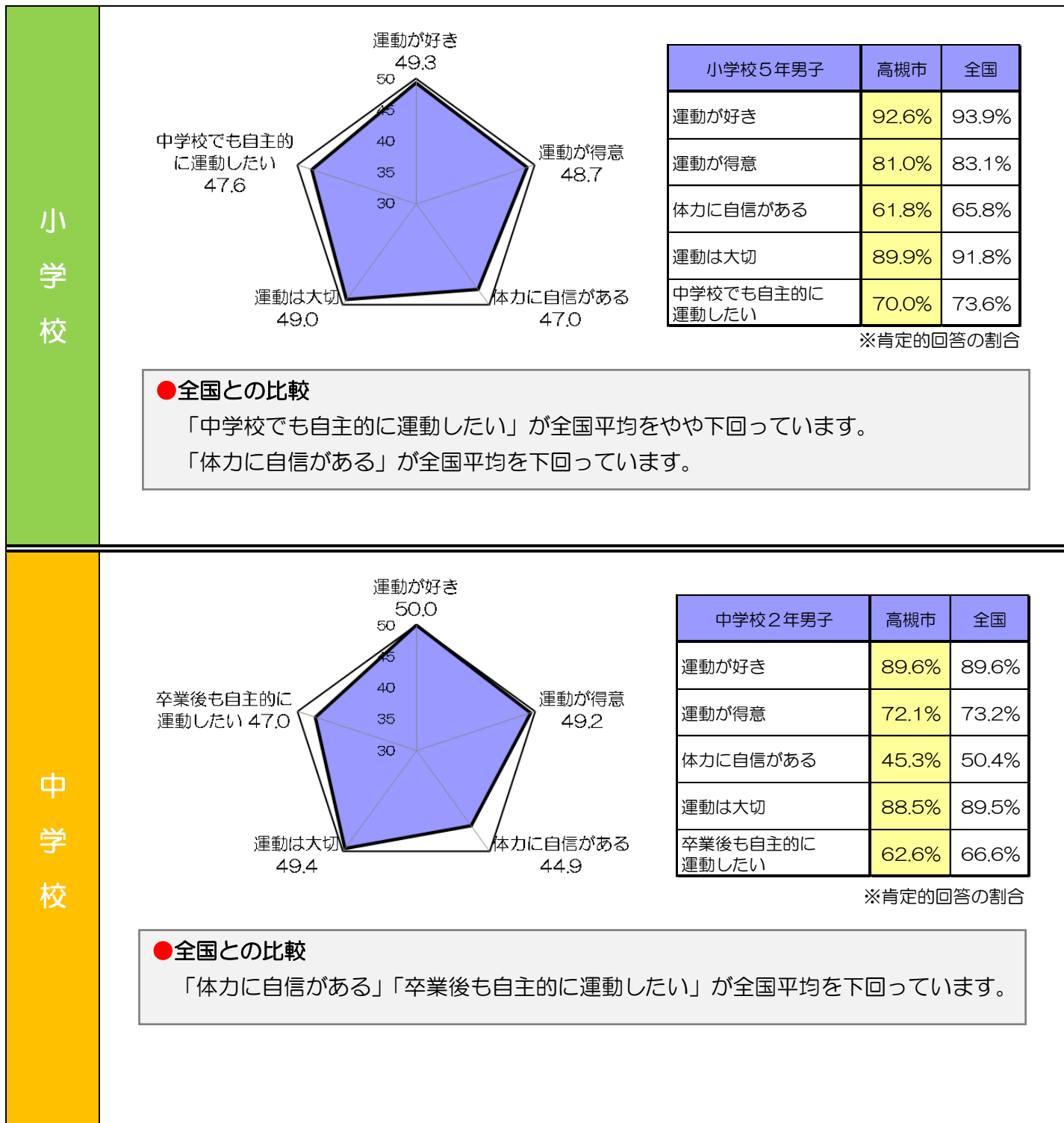
※平成26年度より、質問に「体を動かす遊びを含む」という文言が追加されています。

4. 運動やスポーツに対する意識の状況

平成27年度高槻市平均値と全国平均値の比較【男子】

(全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート)

男子

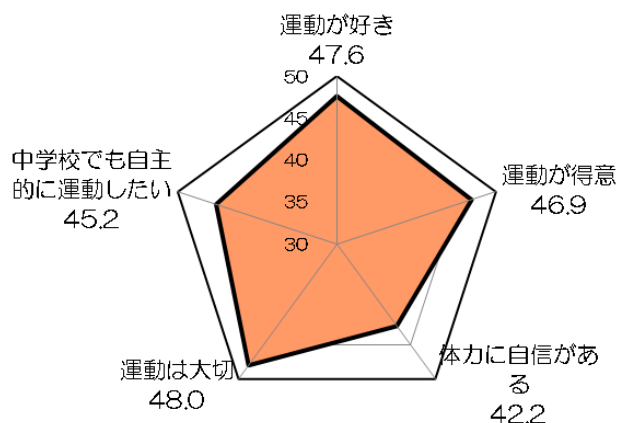


平成27年度高槻市平均値と全国平均値の比較【女子】

(全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート)

女子

小学校



	小学校5年女子	高槻市	全国
運動が好き		83.8%	88.0%
運動が得意		66.0%	70.3%
体力に自信がある		44.2%	52.4%
運動は大切		84.9%	88.5%
中学校でも自主的に運動したい		59.1%	65.4%

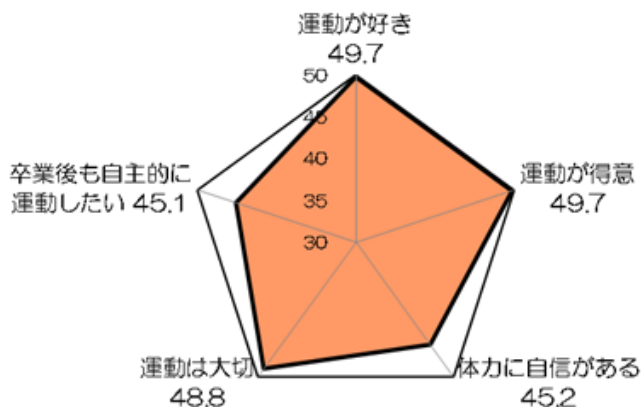
※肯定的回答の割合

●全国との比較

「運動が好き」「運動は大切」が全国平均をやや下回っています。

「運動が得意」「体力に自信がある」「中学校でも自主的に運動したい」が全国平均を下回っています。

中学校



	中学校2年女子	高槻市	全国
運動が好き		78.8%	79.2%
運動が得意		55.4%	55.7%
体力に自信がある		31.3%	34.6%
運動は大切		80.7%	82.7%
卒業後も自主的に運動したい		48.0%	53.2%

※肯定的回答の割合

●全国との比較

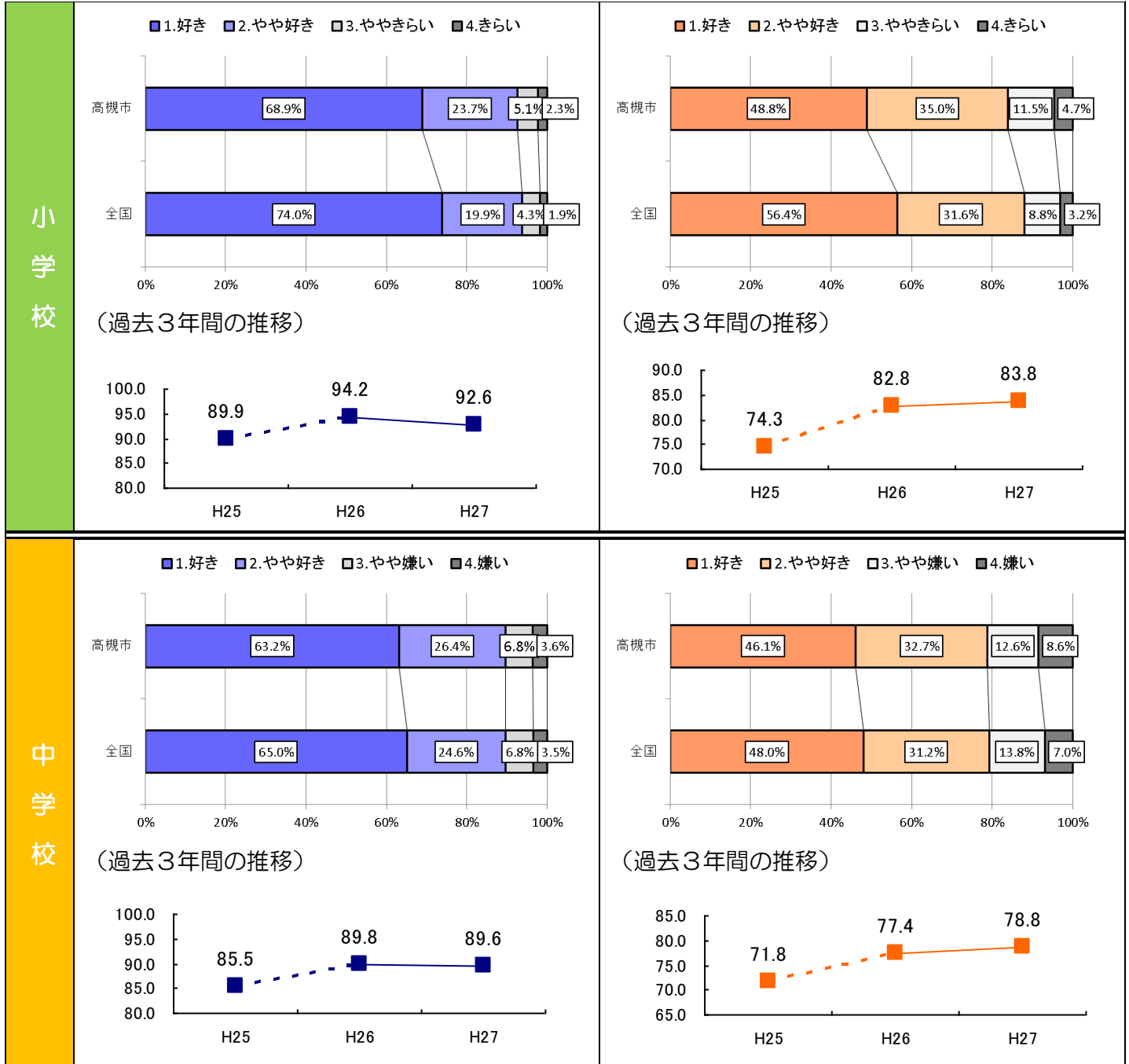
「体力に自信がある」「卒業後も自主的に運動したい」が全国平均を下回っています。

運動が好き

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子

女子



※平成26年度より、質問に「体を動かす遊びを含む」という文言が追加されています。

●全国との比較

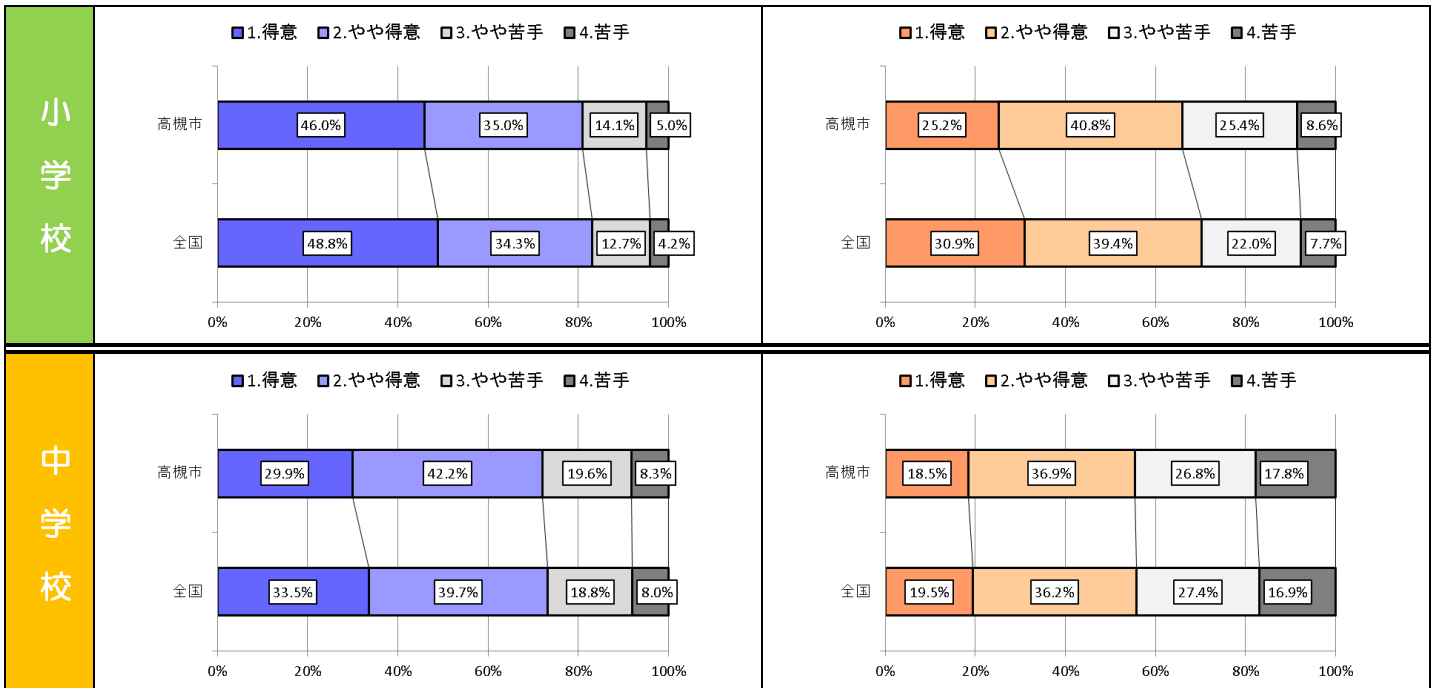
「好き」「やや好き」と答えた児童生徒は、小学校では、男子で **92.6%**、女子で **83.8%**でした。全国に比べ、男子は **1.3** ポイント、女子で **4.2** ポイント下回っています。中学校では、男子で **89.6%**、女子で **78.8%**でした。全国に比べ、男子で **0.9** ポイント、女子で **1.9** ポイント下回っています。

●過去3年間の推移

昨年度と比較すると小学校の女子で **1.0** ポイント、中学校の女子で **1.4** ポイント向上しています。

運動が得意

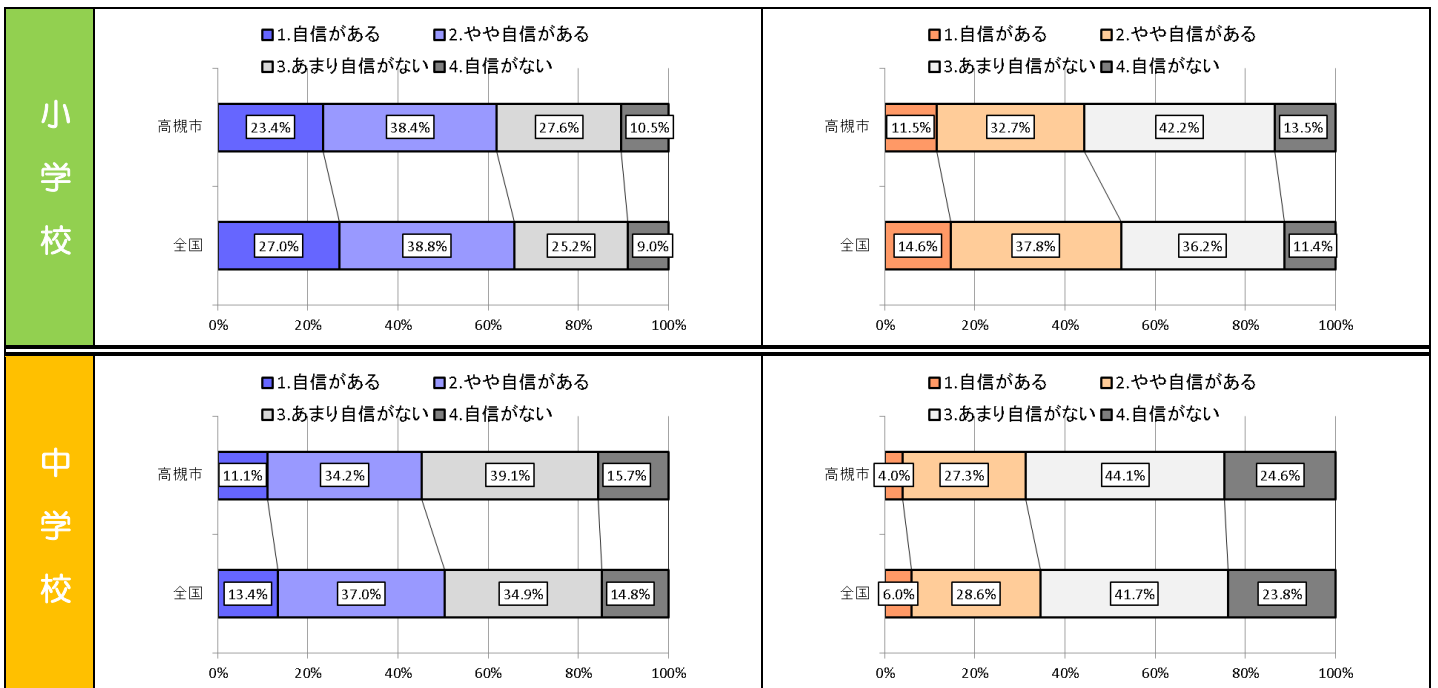
運動（体を動かす遊びも含む）やスポーツをすることは得意ですか



●小学校の男女、中学校の男女で、運動やスポーツが「得意」「やや得意」と回答する児童生徒の割合は、全国平均を下回っている状況です。

体力に自信がある

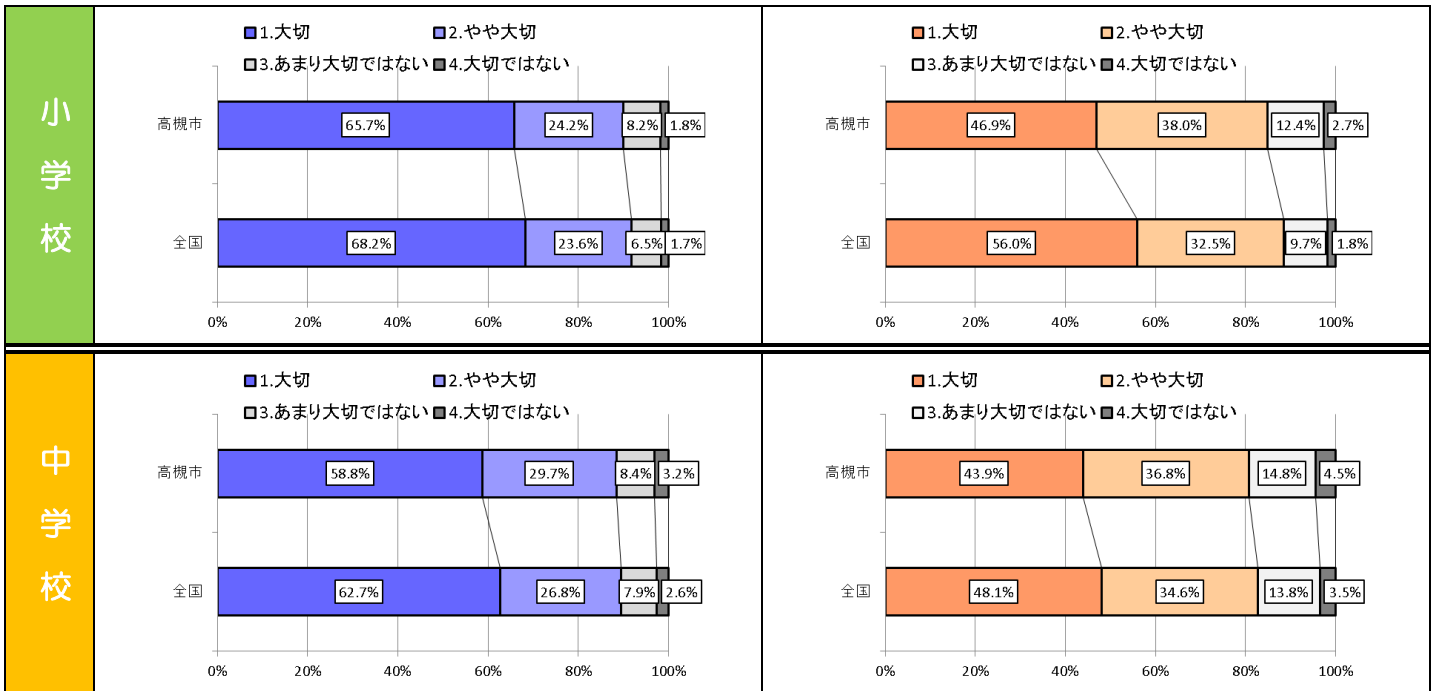
自分の体力に自身がありますか。



●小学校の男女、中学校の男女で、体力に「自信がある」「やや自信がある」と回答する児童生徒の割合は、全国平均を下回っている状況です。

運動は大切

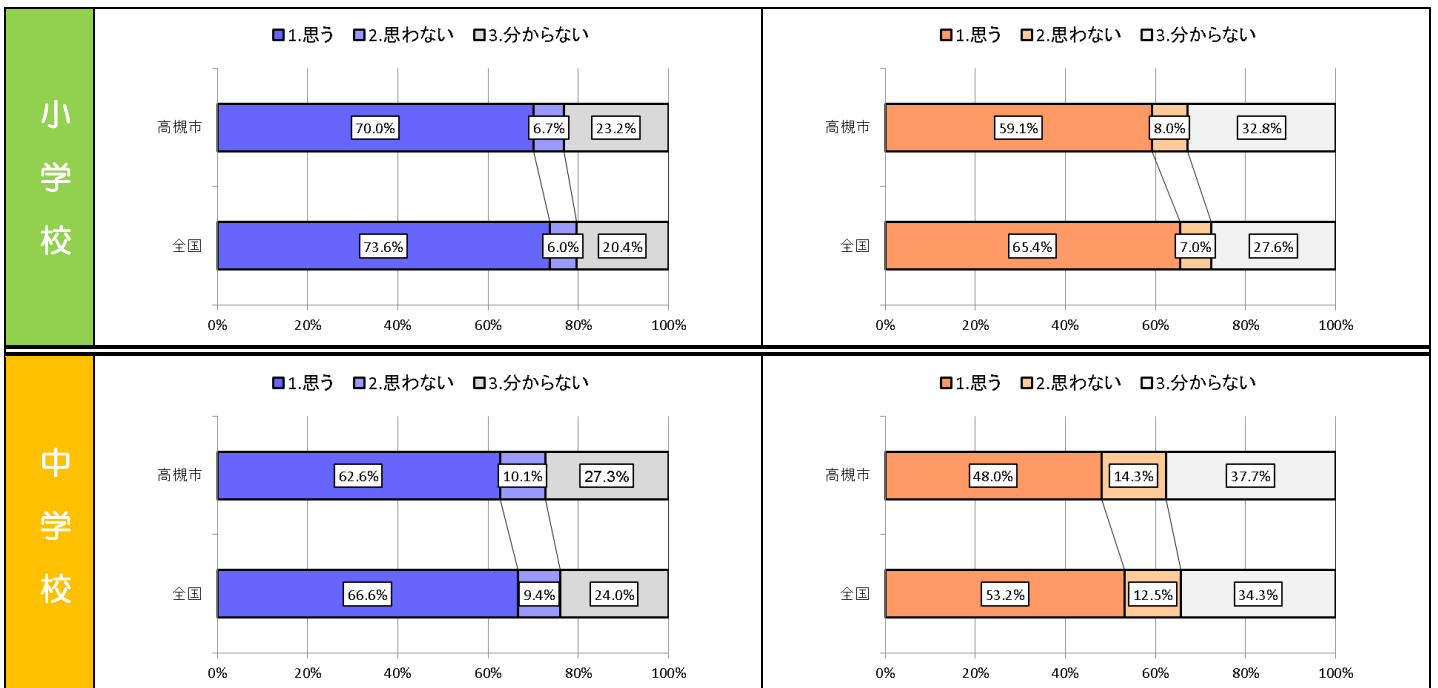
あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



●小学校の男女、中学校の男女で、運動やスポーツが「大切」「やや大切」と回答する児童生徒の割合は、全国平均を下回っている状況です。

中学校でも（卒業後も）自主的に運動したい

中学校に進んだら（中学校を卒業したら）、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



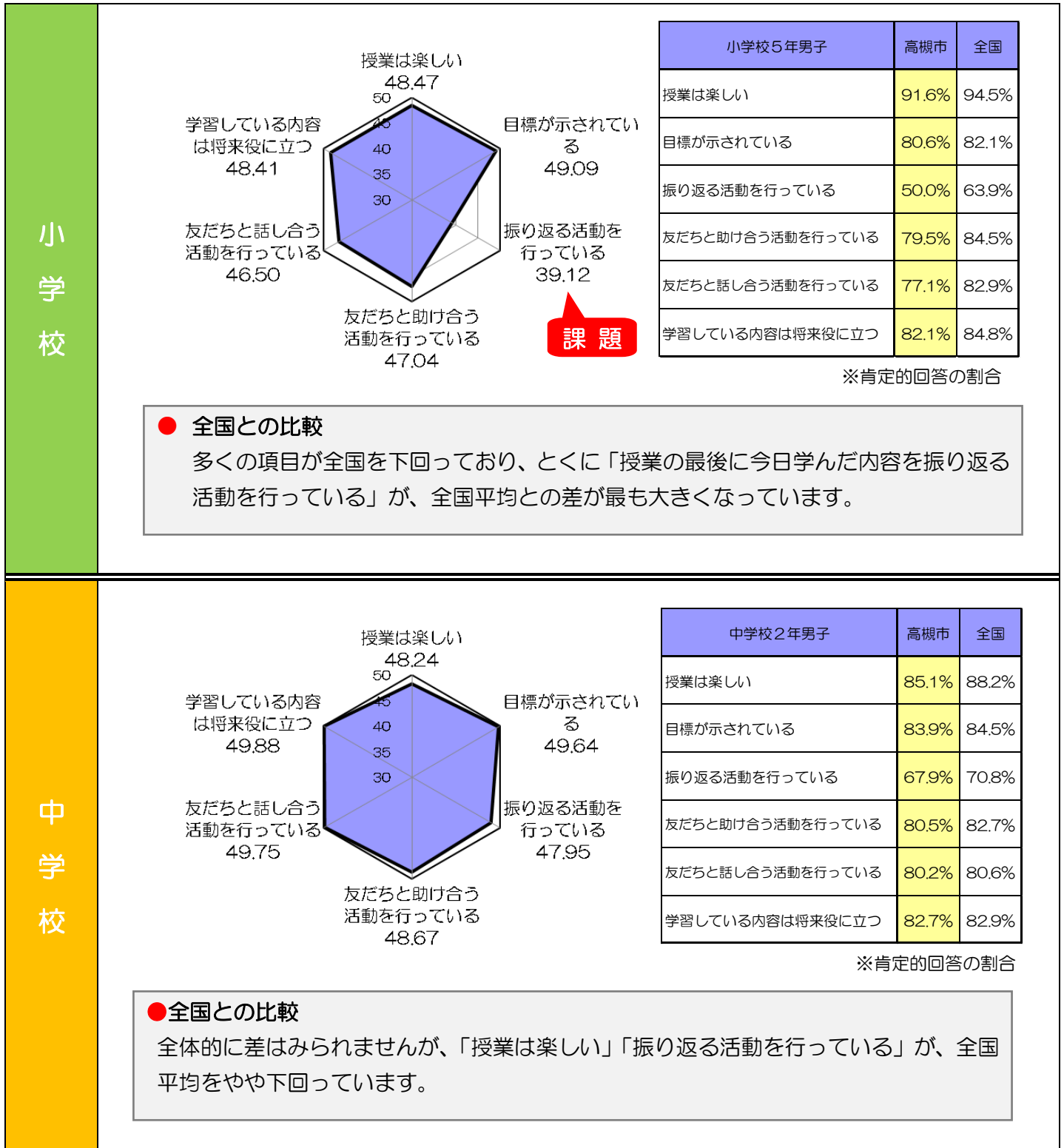
●小学校の男女、中学校の男女で、中学校でも（卒業後も）自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思うと回答する児童生徒の割合は、全国平均を下回っている状況です。

5. 体育・保健体育の授業に対する意識の状況

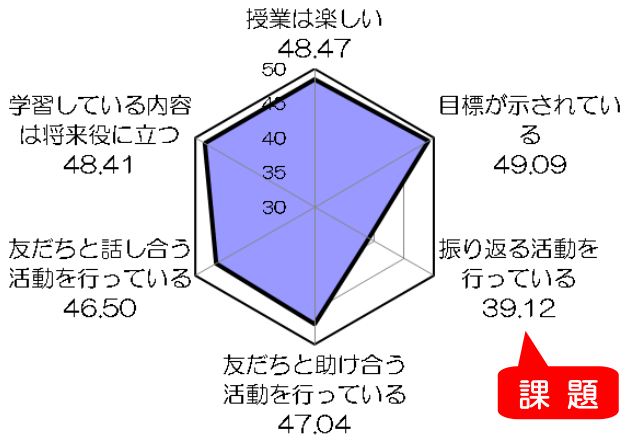
平成27年度高槻市平均値と全国平均値の比較【男子】

(全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート)

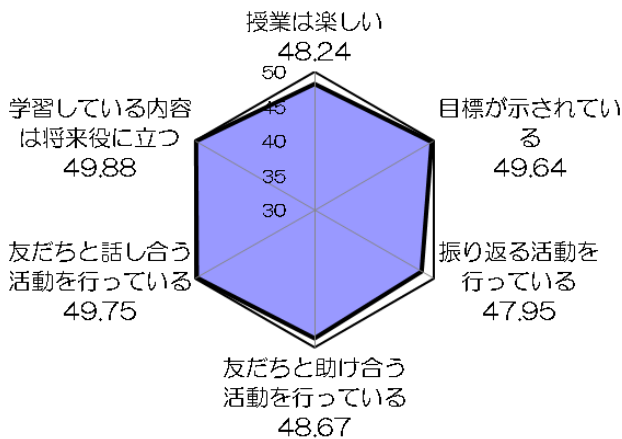
男子



小学校



中学校



	中学校2年男子	
	高槻市	全国
授業は楽しい	85.1%	88.2%
目標が示されている	83.9%	84.5%
振り返る活動を行っている	67.9%	70.8%
友だちと助け合う活動を行っている	80.5%	82.7%
友だちと話し合う活動を行っている	80.2%	80.6%
学習している内容は将来役に立つ	82.7%	82.9%

※肯定的回答の割合

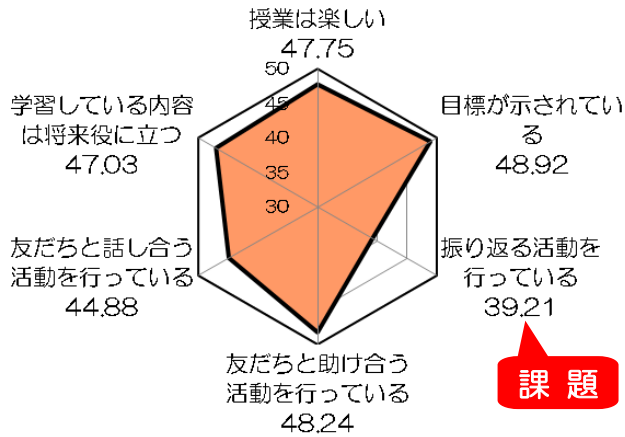
● 全国との比較
 全体的に差はみられませんが、「授業は楽しい」「振り返る活動を行っている」が、全国平均をやや下回っています。

平成27年度高槻市平均値と全国平均値の比較【女子】

(全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート)

女子

小学校



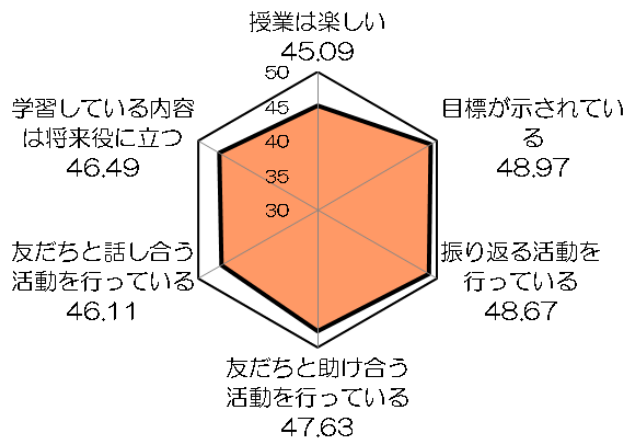
小学校5年女子	高槻市	全国
授業は楽しい	86.9%	91.0%
目標が示されている	81.2%	83.0%
振り返る活動を行っている	50.9%	64.9%
友だちと助け合う活動を行っている	85.0%	88.1%
友だちと話し合う活動を行っている	74.5%	83.0%
学習している内容は将来役に立つ	75.9%	80.7%

※肯定的回答の割合

●全国との比較

多くの項目が全国を下回っています。とくに、「授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っている」が、全国平均との差が最も大きくなっています。

中学校



中学校2年女子	高槻市	全国
授業は楽しい	74.4%	82.5%
目標が示されている	81.0%	82.7%
振り返る活動を行っている	69.5%	71.4%
友だちと助け合う活動を行っている	82.5%	86.6%
友だちと話し合う活動を行っている	74.7%	81.0%
学習している内容は将来役に立つ	70.1%	75.4%

※肯定的回答の割合

●全国との比較

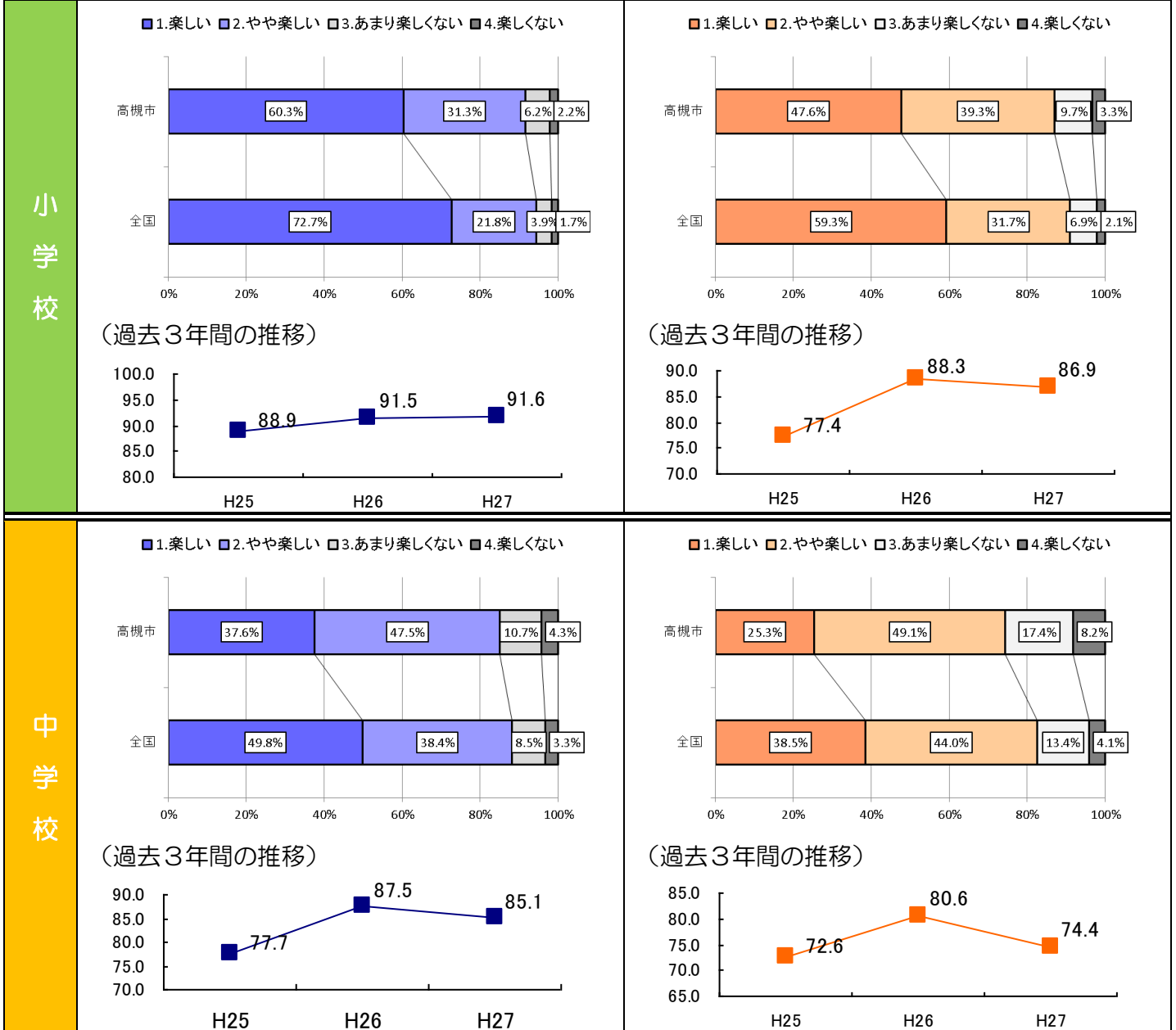
「授業は楽しい」「友だちと話し合う活動を行っている」「学習している内容は将来役に立つ」が全国平均を下回っています。

授業は楽しい

体育（保健体育）の授業は楽しいですか。

男子

女子



●全国との比較

「楽しい」「やや楽しい」と答えた児童生徒は、小学校では、男子で 91.6%、女子で 86.9%でした。全国に比べ、男子は 2.9 ポイント、女子で 4.1 ポイント下回っています。中学校では、男子で 85.1%、女子で 74.4%でした。全国に比べ、男子で 3.1 ポイント、女子で 8.1 ポイント下回っています。

●過去3年間の推移

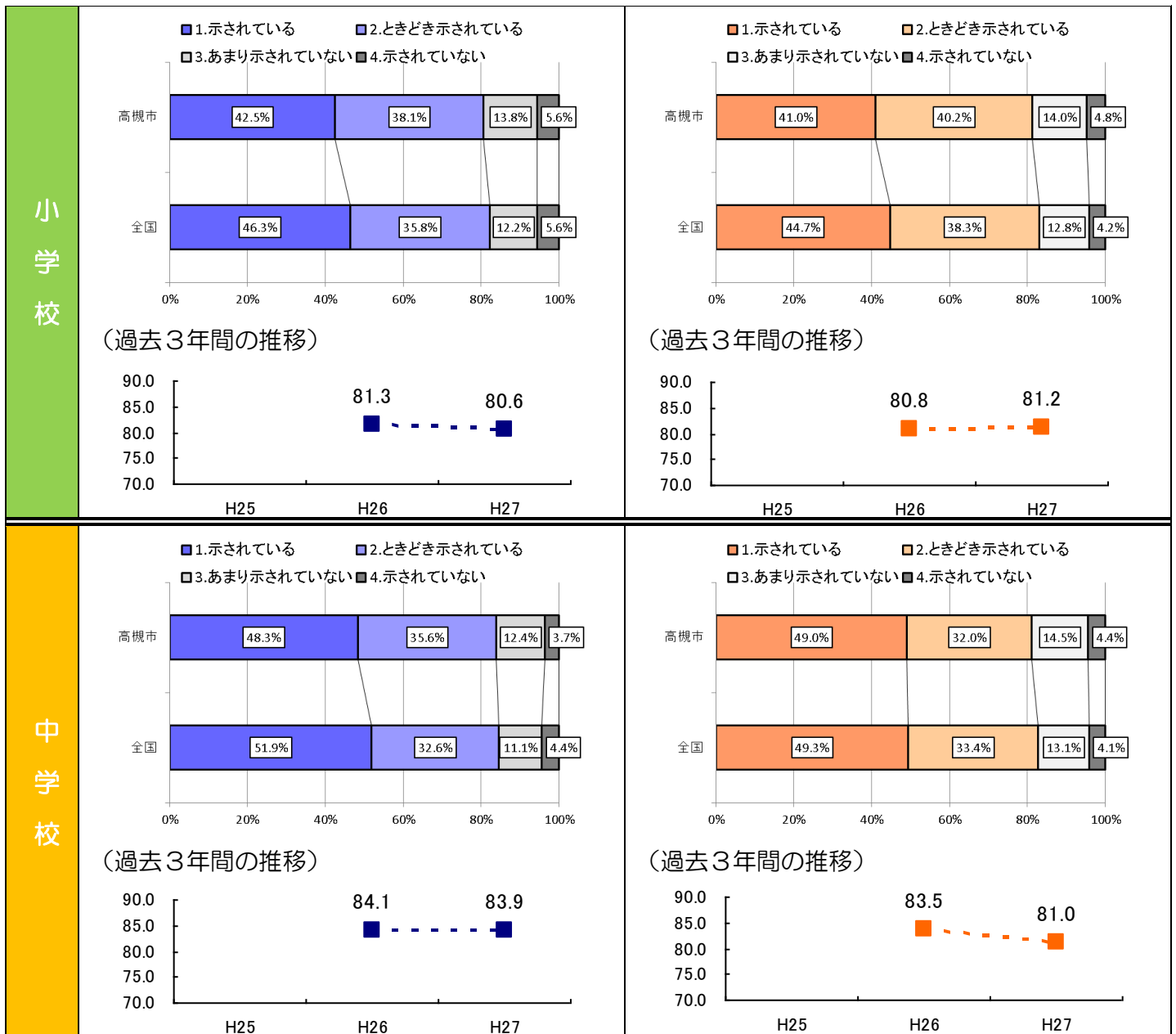
小学校の女子、中学校の男子で昨年度を下回っています。

目標が示されている

ふだんの体育（保健体育）の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。

男子

女子



●全国との比較

「示されている」「ときどき示されている」と答えた児童生徒は、小学校では、男子で **80.6%**、女子で **81.2%** でした。全国に比べ、男子は **1.5** ポイント、女子で **1.8** ポイント下回っています。中学校では、男子で **83.9%**、女子で **81.0%** でした。全国に比べ、男子で **0.6** ポイント、女子で **1.7** ポイント下回っています。

●昨年度との比較

小学校の女子で向上がみられましたが、小学校の男子、中学校の男女で昨年度を下回っています。

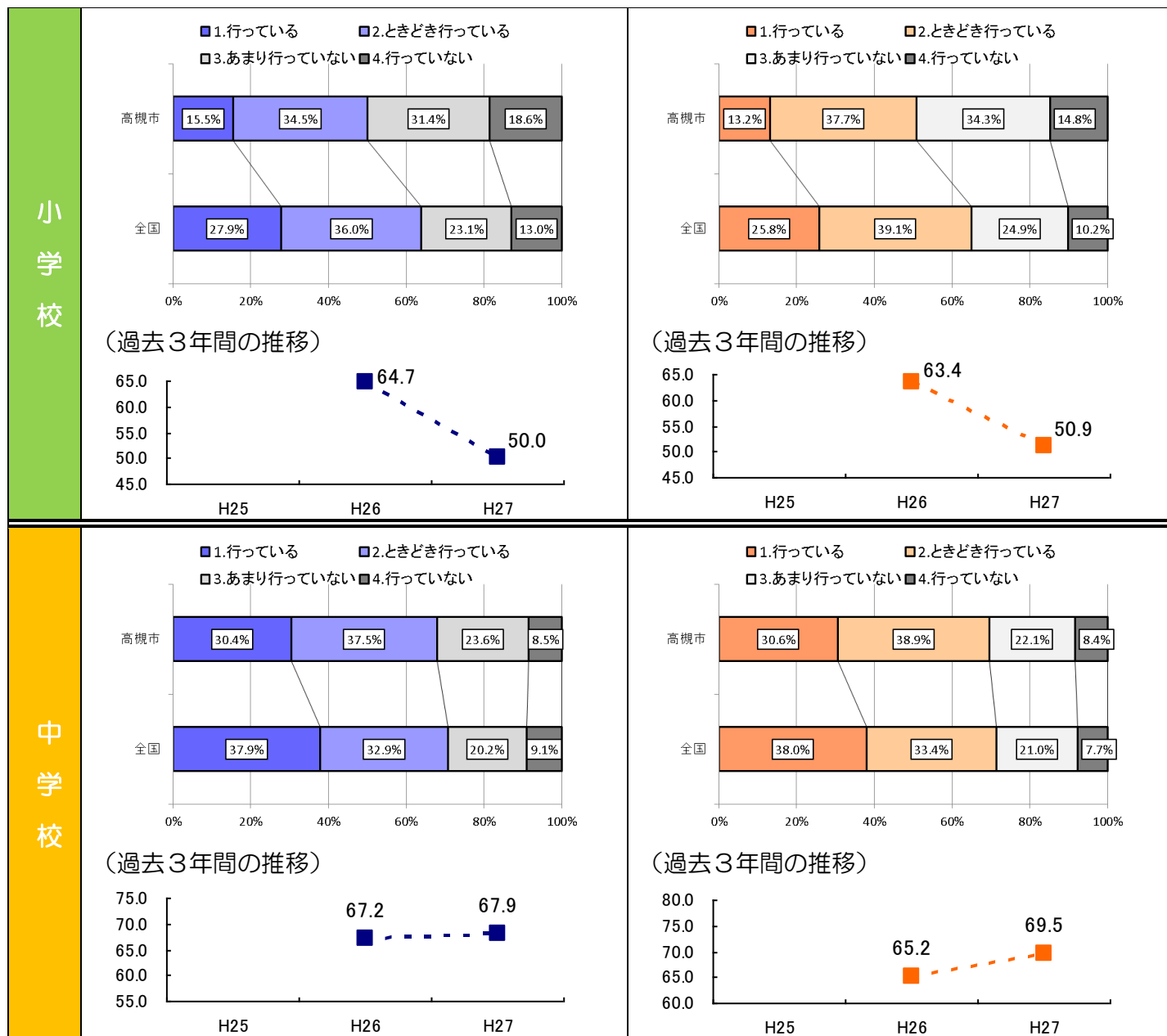
※質問について、平成26年度は「目標が示されていますか」と思いますが、平成27年度は「目標が示されていますか」に変更されています。

振り返り活動を行っている

ふだんの体育（保健体育）の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか。

男子

女子



●全国との比較

「行っている」「ときどき行っている」と答えた児童生徒は、小学校では、男子で50.0%、女子で50.9%でした。全国に比べ、男子は13.9ポイント、女子で14.0ポイント下回っています。中学校では、男子で67.9%、女子で69.5%でした。全国に比べ、男子で2.9ポイント、女子で1.9ポイント下回っています。

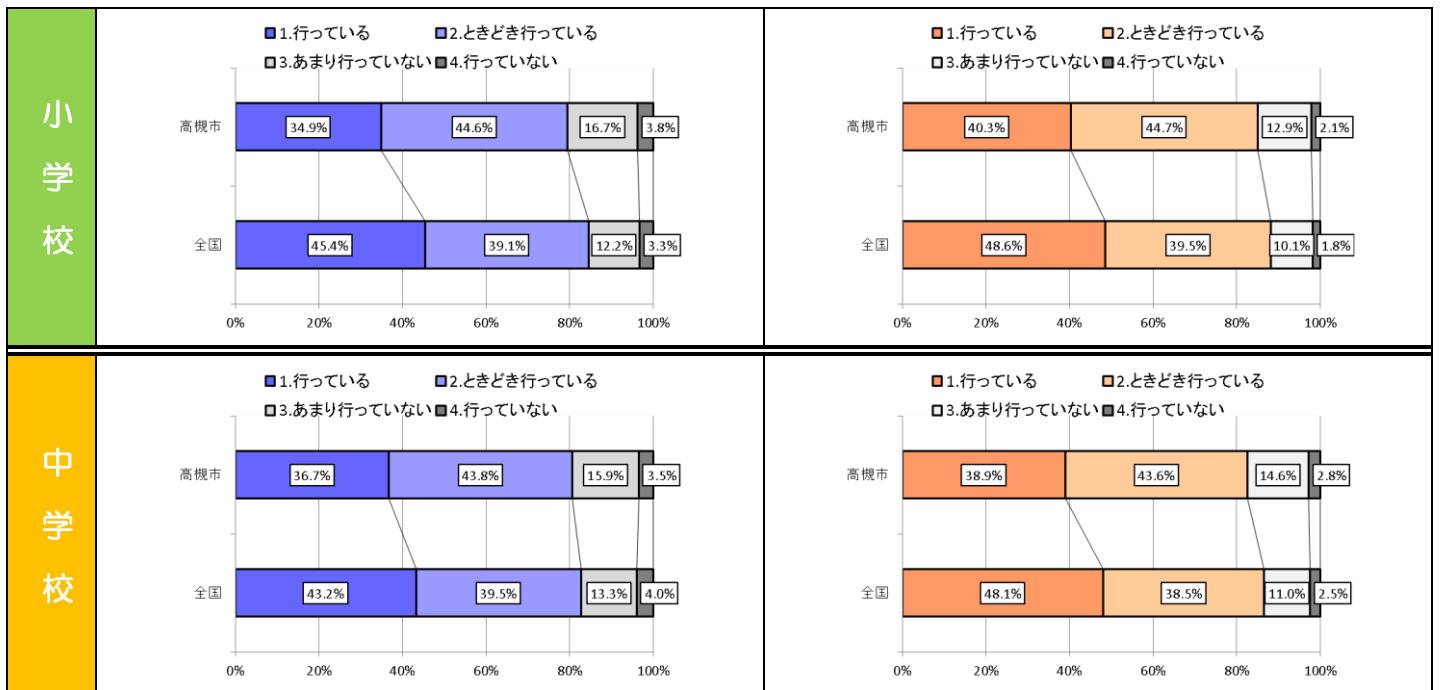
●昨年度との比較

中学校の男女で向上がみられましたが、小学校の男女で昨年度を下回っています。

※質問について、平成26年度は「振り返る活動を行っていますか」でしたが、平成27年度は「振り返る活動を行っていますか」に変更されています。

友だちと助け合う活動を行っている

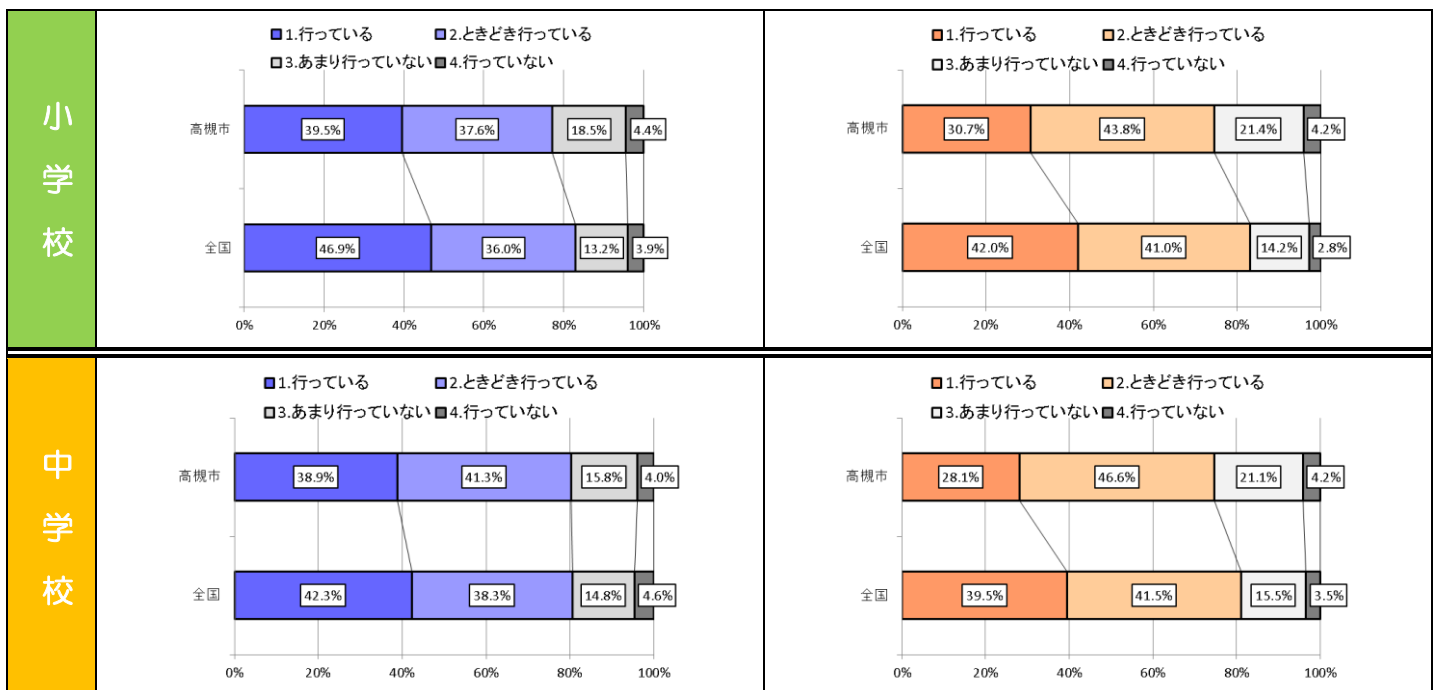
ふだんの体育（保健体育）の授業では、友だちと助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



● 小学校の男女、中学校の男女で、「友だちと助け合う活動を行っている」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている状況です。

友だちと話し合う活動を行っている

ふだんの体育（保健体育）の授業では、友だち同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



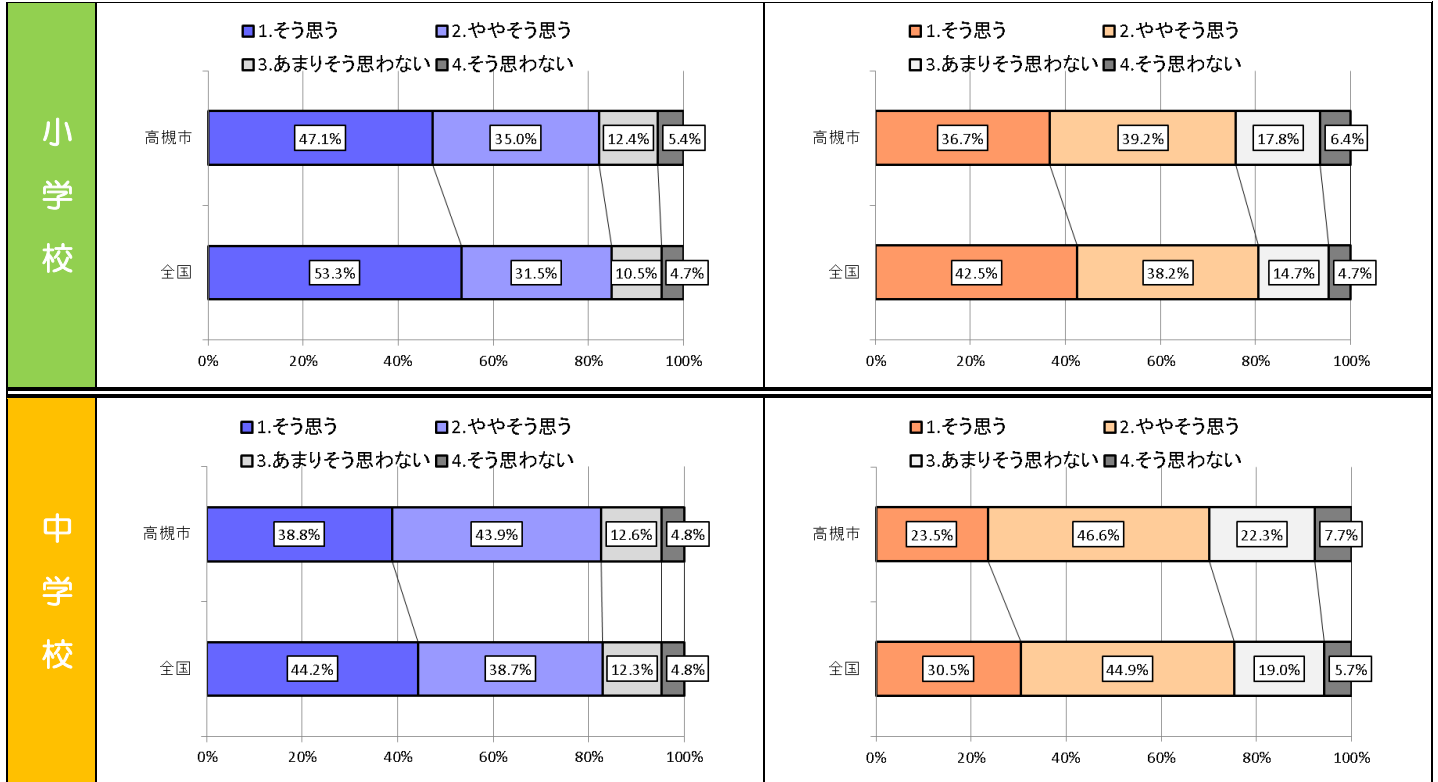
● 小学校の男女、中学校の女子で、「友だちと話し合う活動を行っている」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている状況です。

学習している内容は将来役に立つ

今、体育（保健体育）の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。

男子

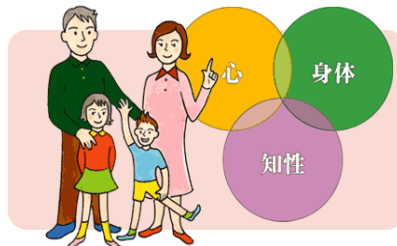
女子



● 小学校の男女、中学校の女子で、「学習している内容は将来役に立つ」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている状況です。

「子どもにとって体力とは」

体力は、人間のあらゆる活動の源であり、健康な生活を営む上でも、また物事に取り組む意欲や気力といった精神面の充実にも深く関わっており、人間の健全な発達・成長を支え、より豊かで充実した生活を送る上で大変重要なものです。



「子どもの体力向上」ホームページより

公益財団法人日本レクリエーション協会（文部科学省委託）

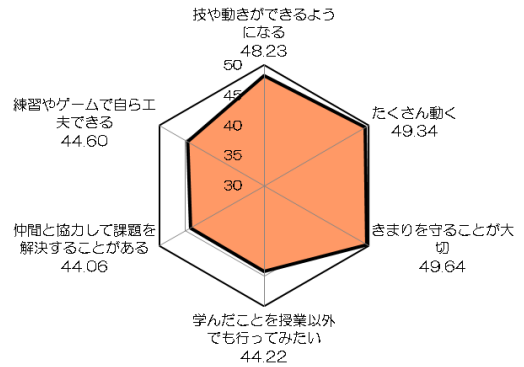
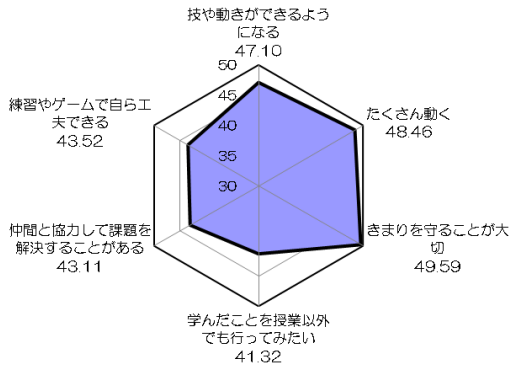
体育・保健体育の授業で感じていること

体育（保健体育）の授業であなたはどのように感じていますか。

男子

女子

小学校



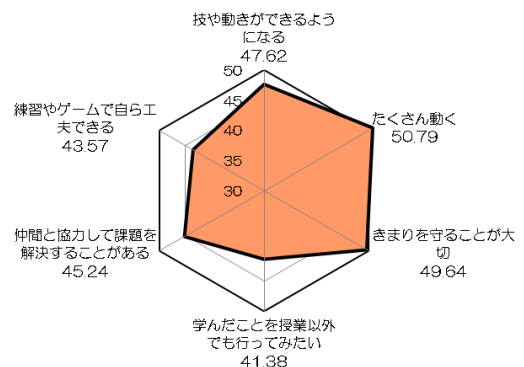
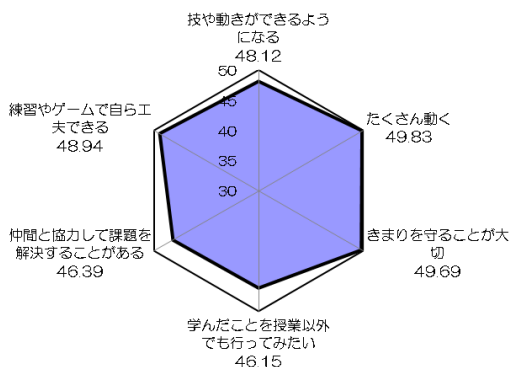
小学校5年男子	高槻市	全国
技や動きができるようになる	79.5%	84.4%
たくさん動く	88.0%	90.8%
きまりを守ることが大切	96.2%	97.0%
学んだことを授業以外でも行ってみたい	60.9%	73.7%
仲間と協力して課題を解決することがある	69.5%	80.6%
練習やゲームで自ら工夫できる	65.1%	74.8%

小学校5年女子	高槻市	全国
技や動きができるようになる	81.7%	84.7%
たくさん動く	90.3%	91.5%
きまりを守ることが大切	97.5%	98.2%
学んだことを授業以外でも行ってみたい	66.6%	75.3%
仲間と協力して課題を解決することがある	72.0%	81.7%
練習やゲームで自ら工夫できる	62.0%	69.5%

※肯定的回答の割合

※肯定的回答の割合

中学校



中学校2年男子	高槻市	全国
技や動きができるようになる	81.7%	84.9%
たくさん動く	87.5%	87.8%
きまりを守ることが大切	96.2%	96.8%
学んだことを授業以外でも行ってみたい	62.4%	67.6%
仲間と協力して課題を解決することがある	74.6%	80.4%
練習やゲームで自ら工夫できる	73.9%	75.5%

中学校2年女子	高槻市	全国
技や動きができるようになる	78.2%	82.1%
たくさん動く	89.6%	88.2%
きまりを守ることが大切	96.7%	97.4%
学んだことを授業以外でも行ってみたい	48.5%	58.6%
仲間と協力して課題を解決することがある	73.1%	80.8%
練習やゲームで自ら工夫できる	58.3%	66.9%

※肯定的回答の割合

※肯定的回答の割合

- 小学校の男女、中学校の男女とも、「たくさん動く」「きまりを守ることが大切と思う」は全国平均とほぼ同じ結果となっています。しかし、それ以外の多くの項目は、全国平均を下回っている状況です。

6. 体育・保健体育の授業改善の必要性

児童生徒の体育・保健体育の授業に対する意識の状況

体育・保健体育の学習指導要領の目標には「運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする」ことが示されており、児童生徒に運動の特性や魅力に応じて、様々な運動の楽しさを感じることでできる授業が目指されています。

しかし、本市においては、「体育・保健体育の授業が楽しいですか」という質問をはじめ、授業に関する基本的な質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回っている状況です（図1）。

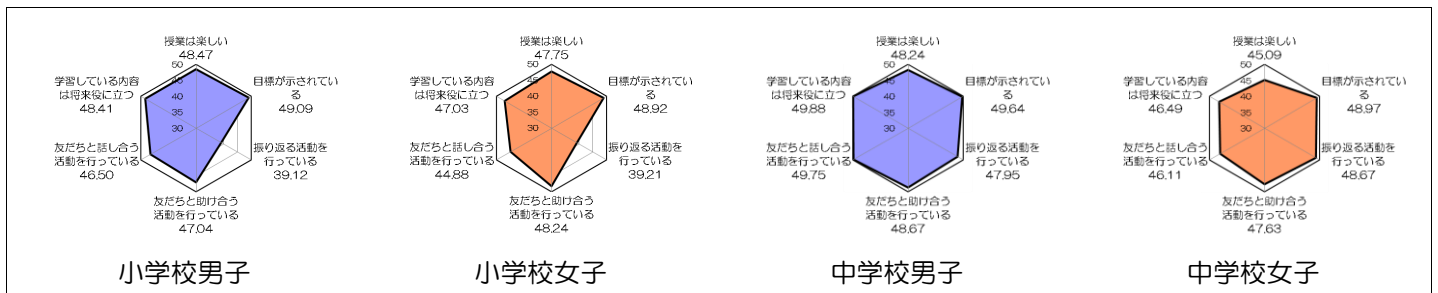


図1 体育・保健体育の授業に対する意識（平成27年度高槻市平均値と全国平均値の比較）

誰もが運動やスポーツに触れることのできる機会として、児童生徒の体力向上、豊かなスポーツライフの実現に中心的な役割を果たしている体育・保健体育の授業改善が求められています。

授業の中で、できなかったことが「できるようになる」楽しさを感じる

児童生徒が授業の中で「できなかったことができるようになる」楽しさを感じ、その種目の特性や魅力に触れる喜びを味わうことは、運動やスポーツの実施への好循環へとつながっていくと考えられます。

「授業は楽しい」と回答した児童生徒は、「できるようになった」きっかけとして、「授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」「友達に教えてもらった」と回答した割合が「授業は楽しくない」と回答した児童生徒より高くなっています（図2）。

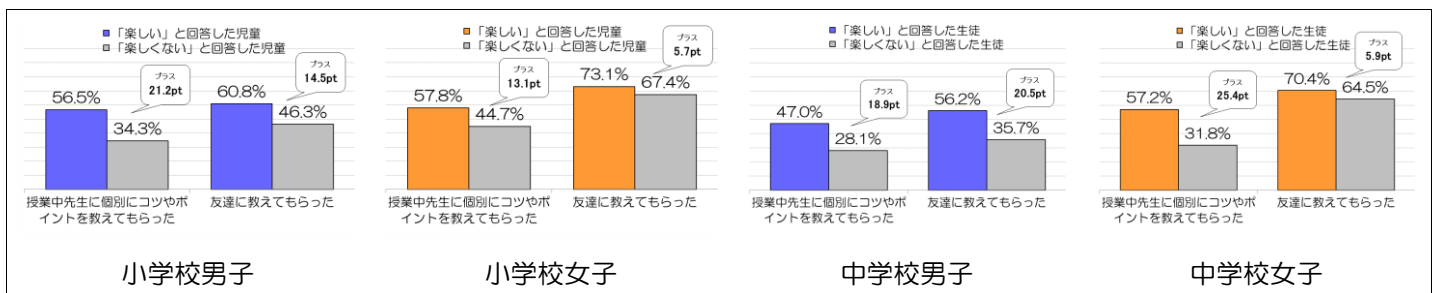


図2 「授業は楽しい」と回答した児童生徒が授業でできるようになったきっかけ（1）

これは、教員が児童生徒の課題を的確に把握し、体の動かし方や技能のポイントをイメージできるような言葉がけ工夫したり、効果的な練習方法のヒントを与えたり、友達同士で教え合い・学び合いを行ったりすることの大切さを示した結果といえます。

また、「授業は楽しい」と回答した児童生徒は、「授業中に自分で工夫して練習した」「自分に合った場やルールが用意された」「先生や友達のまねをしてみた」「授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た」と回答した割合も「授業は楽しくない」と回答した児童生徒より高く、課題解決へ向けて主体的に授業へ取り組む工夫や、ICTの活用が成果を上げていることが考えられます（図3）。

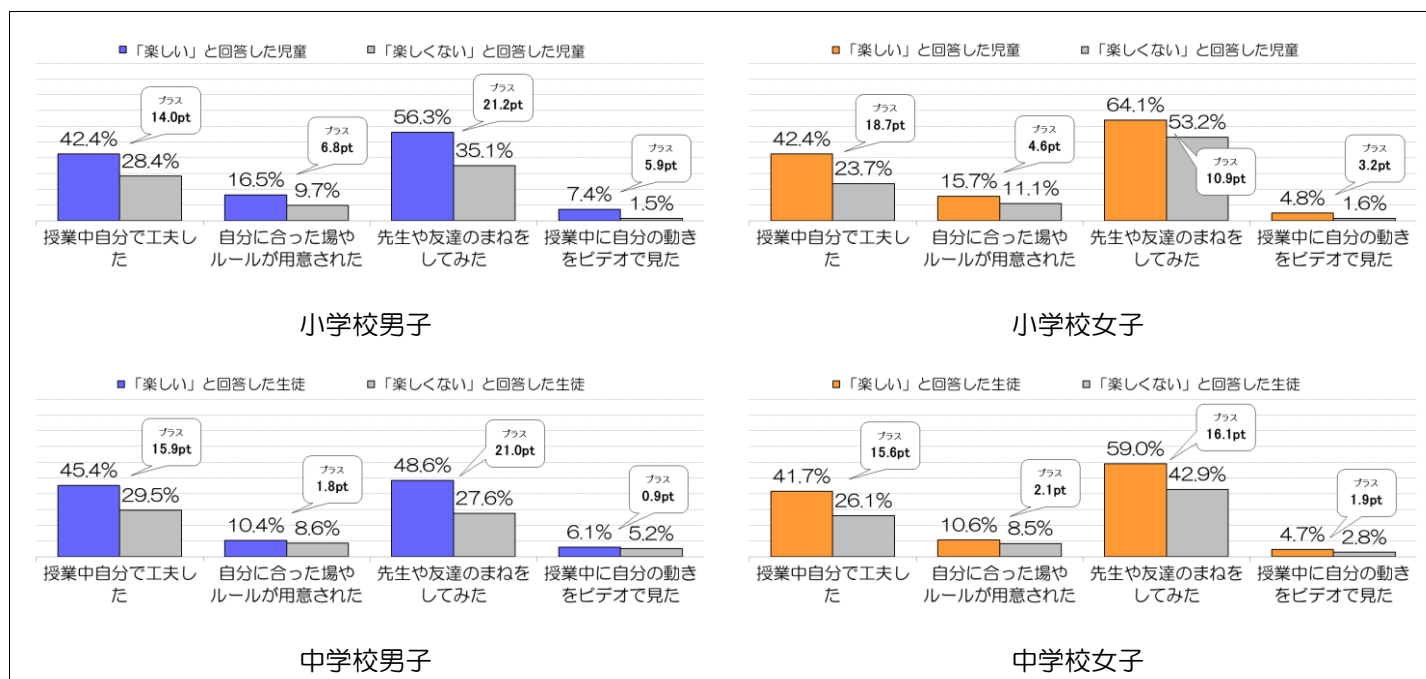


図3 「授業は楽しい」と回答した児童生徒が授業でできるようになったきっかけ（2）

授業の中で、目標をもって友だちと活動する

体育・保健体育の「授業は楽しい」と回答した児童生徒は、ふだんの体育・保健体育の授業で、「授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されている」「授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っている」と回答した割合が「授業は楽しくない」と回答した児童生徒より高くなっています（図4）。

また、授業で「友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っている」「友達同士やチームの中で話し合う活動を行っている」と回答した割合が「授業は楽しくない」と回答した児童生徒より高くなっています（図5）。

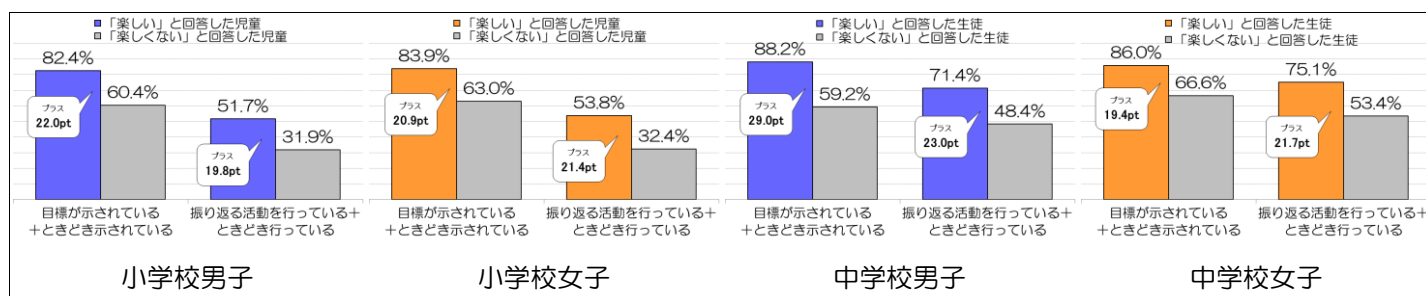


図4 「授業は楽しい」と回答した児童生徒の授業の実態についての認識（1）

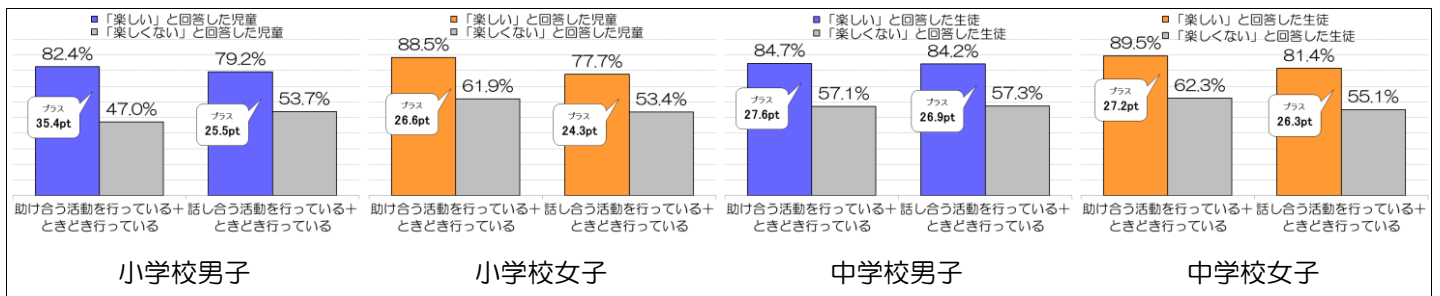


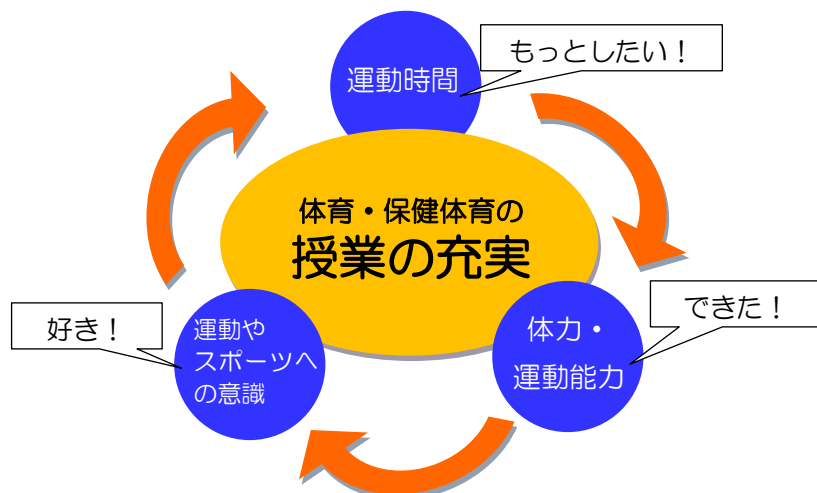
図5 「授業は楽しい」と回答した児童生徒が授業の実態についての認識（2）

授業の始めでの目標の提示は、その時間の見通しや学習内容への期待感を与え、振り返りは、次なる課題を明確にし、達成度の確認にも役立ちます。また、仲間と助け合ったり教え合ったり、自己の役割を果たすような活動を促すことは、仲間との協力による連帯感や授業へ自主的に取り組む意欲を高めるのに有効であるといえます。

授業改善から、「運動やスポーツへの意識」を高め、「運動時間」を延ばし、「体力」を向上させる好循環を目指して

児童生徒の体力向上を促進するためには、運動の楽しさや喜びを実感できるような学校の取組みの中で、児童生徒が運動に触れる機会をもち、運動やスポーツへの意識を高めていくことが重要です。

児童生徒にとって体育・保健体育の授業の影響は大きく、授業の中でいかに運動に親しませ、「できた」という経験を味わわせるかが、体力向上や運動への意欲向上の重要なポイントになります。



「運動やスポーツへの意識」を高め、「運動時間」を延ばし、「体力」を向上させる好循環を目指し、教員は、より多くの児童生徒が達成感を得られるよう、日々、授業改善に取り組んでいくことが求められています。

7. 「ボール投げ」の記録向上のために

「ソフトボール投げ」「ハンドボール投げ」の記録

全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本市の「ソフトボール投げ」「ハンドボール投げ」の記録は、小学校の男子で21.43m、女子で13.10m、中学校の男子で19.94m、女子で12.07mとなりました。多くの種目で記録の向上が見られる中、「ボール投げ」は低下傾向にあり、今年度は過去5年で最低の記録となっています（図1）。

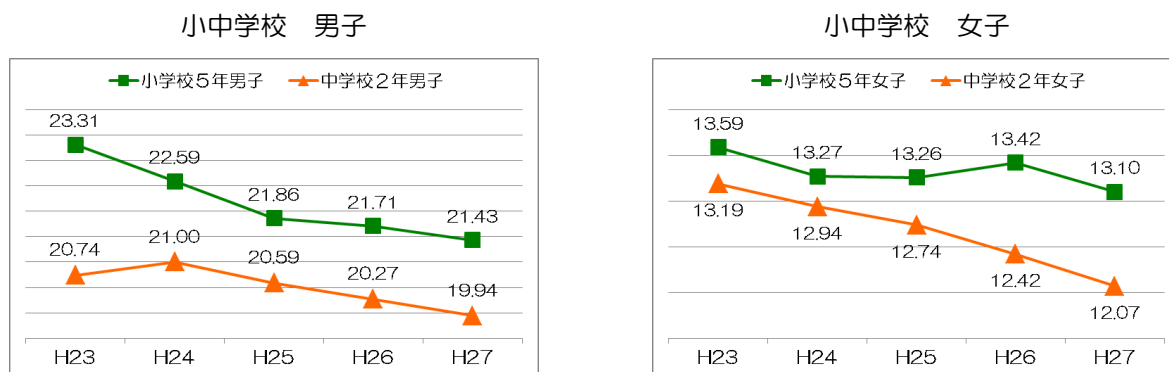


図1 ソフトボール投げ・ハンドボール投げの記録<過去5年の推移>

「ボール投げ」を向上させるためのポイント

スポーツ庁の分析によると、「ボール投げ」上位校では、握力や投げる習慣など、投力との関係が強いと考えられる種目だけでなく、全ての実技種目において、全国平均を上回っていることがわかりました。

また、「1週間の総運動時間が60分未満」の児童生徒の割合が少なく、「運動が好き」な児童生徒の割合が高いなどの特徴もみられました。以上のことは、体力合計点にも反映されており、「ボール投げ」上位校は、体力合計点でも、全国平均を大きく上回っています（図2）。

実技種目	小学校		中学校	
	男子	女子	男子	女子
握力(kg)	18.2	17.7	31.6	25.1
上体起こし(回)	21.4	20.3	28.9	24.7
長座体前屈(cm)	34.3	38.6	45.2	47.3
反復横とび(点)	45.5	43.6	54.1	48.7
持久走(秒)※	-	-	382.3	286.4
シャトルラン(回)	60.2	49.9	89.0	62.4
50m走(秒)※	9.1	9.4	7.8	8.6
立ち幅とび(cm)	158.7	153.1	201.1	174.3
ソフトボール投げ(m)	30.5	20.1	25.0	16.4
体力合計点	59.3	61.3	46.5	54.8
総合評価A率	27.3	38.9	15.5	48.3
1週間の総運動時間60分未満率※	2.2	7.2	3.3	11.1
1週間の総運動時間420分以上率	74.1	47.3	89.7	15.7

※は、値が小さいほど記録が優れている。

図2 「ボール投げ」上位校と全国平均との比較

(平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 報告書より)

投力の向上には、ボールを使った運動だけでなく、日頃から様々な運動や動きの取組みが重要であると考えられます。「ボール投げ」に必要な瞬発力や調整力、体の使い方などを総合的に身に付けるとともに、バランスの良い体づくりが行われることで、投力、握力、そして、体力の向上につながるものと考えられます。

8. 全国体力調査の結果＜まとめ＞

1 実技に関する調査の結果から

高槻市の子どもたちの体力はここ数年一定の水準で推移しており、全体的にみると向上傾向にあります。しかし、種目別にみると依然として全国平均を下回る種目や、低下傾向が続いている種目があります。

●高槻市と全国との比較（種目別）

- ・小学校では、『反復横とび』が全国平均を下回っており、敏捷性に課題がみられます。
- ・中学校では、いずれの種目も全国と差はないものの、男子では『長座体前屈』、女子では『ハンドボール投げ』が全国平均をやや下回っており、柔軟性や巧緻性・投球能力に課題がみられます。

●過去5年の本市の結果

- ・『20mシャトルラン』は小中学校の男女で向上傾向にあり、『持久走』でも向上傾向がみられることから、本市においては全身持久力が向上していると考えられます。
- ・『握力』と『ソフトボール投げ』『ハンドボール投げ』が小中学校の男女で低下傾向にあります。

2 児童生徒質問紙調査の結果から

児童生徒質問紙調査の結果からは、運動やスポーツをする子どもとしない子どもの二極化が明らかになっています。また、運動やスポーツに対する意識や体育・保健体育の授業に対する意識も全国平均と比較すると依然として低い水準となっています。

●運動時間

- ・小学校では、1週間の総運動時間の分布は、運動をほとんどしない児童が多く、特に女子においてその傾向が顕著となっています。
- ・運動部活動のある中学校では、明確な二極化の傾向がみられ、特に女子においてその傾向が顕著となっています。

●運動やスポーツに対する意識

- ・小中学校の男女とも、運動やスポーツに対する意識は、多くの項目で全国平均を下回っています
- ・特に、小中学校の「体力に自信がある」「中学校でも（卒業後も）自主的に運動したい」という項目で、全国との差が大きくなっています。

●体育・保健体育の授業に対する意識

- ・小中学校の男女とも、体育・保健体育の授業を「楽しい」「やや楽しい」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国を下回っている状況にあります。
- ・「授業の最後にふり返る活動を行っている」という質問に対して、「行っている」「ときどき行っている」と回答した児童の割合は、小学校の男女で全国との差が大きくなっています。

9. 子どもたちの体力向上に向けて

高槻市では、今回の調査結果から子どもたちの体力や運動習慣等の状況を把握するとともに、『高槻市教育振興基本計画』に基づき、今後も学校における体育活動の活性化や運動に親しむ機会の充実、生活習慣の定着を通じた健康づくりなど、体力の向上に向けた取組を推進します。

1 学校における体育活動の活性化

これまでの調査結果から、「運動やスポーツに対する意識」「運動時間」「体力・運動能力」は密接に関連していることがわかっています。体力向上のためには、誰もが運動やスポーツに触れることのできる機会として、体育・保健体育の授業の充実を図ることが重要です。

学校では、子どもたちの体力向上に向けたPDCAサイクルに基づく体育活動の活性化を図ります。

●学校体育体力向上推進校（第一中学校区・第九中学校区）の指定（平成27・28年度）

第一中学校区と第九中学校区を学校体育体力向上推進校に指定し、体育・保健体育科の授業等における指導方法の工夫改善に取り組み、児童生徒の体力や運動能力の向上を目指します。

●「体力づくり推進計画（アクションプラン）」の策定

小・中学校において「体力づくり推進計画（アクションプラン）」の策定し、子どもたちの体力向上に向けた検証改善サイクルの確立を目指します。



2 運動に親しむ機会の充実

児童生徒質問紙調査の結果からは、運動やスポーツをする子どもとしない子どもの二極化が明らかになっています。このことから、体育・保健体育の時間以外にほとんど運動をしていない子どもたちへの働きかけが、全体の体力を向上させる重要なポイントとなります。

高槻市では、子どもたちに運動習慣を育むため、運動に親しむ機会の充実を図ります。

<主な取組>

- ・小学校なわとび検定の実施
- ・小学校総合体育大会（駅伝大会、サッカー大会、ミニバスケットボール大会）の開催
- ・中学校総合体育大会の開催
- ・中学校部活動外部指導者の派遣
- ・小中学校総合体育大会新聞の発行（平成28年度～）

3 生活習慣の定着を通じた健康づくり

学校における食に関する指導や学校保健活動を充実するとともに、地域と家庭と連携して心身の健全な成長及び望ましい生活習慣の定着を通じた健康づくりを進めます。

●食に関する指導の推進

「食に関する指導の全体計画」に基づき、全教職員が連携、協力して校内組織を充実させ、学校教育活動全体を通じた食に関する指導を推進します。

●地域や家庭と連携した生活習慣

保護者に対する基本的な生活習慣の周知など、地域や家庭と連携して生活習慣の定着や児童・生徒の健康課題に解決に向けた取組を進めます。